

Pioneer

安全のために必ずお守りください

はじめに

ここだけ読めばすぐ使えます

DVD

ラジオ

USB

iPod

音の調節

DVD設定

初期設定

便利な機能

取り付けの準備

接続・取り付けと動作確認

その他（付録）

DVH-570

DVD-V/VCD/CD/USB/ チューナー・
WMA/MP3/AAC/DivX /JPEG 対応メインユニット

取扱説明書

目次 4 ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

安全のために必ずお守りください

[使用方法]

運転中に操作をしない



運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

運転中に画像を注視しない



運転者は運転中に、画像を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見る時は必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキ（サイドブレーキ）をかけて使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は使用できません。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

目次

安全のために必ずお守りください

| | |
|---------|---|
| 絵表示について | 2 |
| 安全上のご注意 | 3 |

はじめに

| | |
|---------------------------|----|
| 本書のみかた | 8 |
| 本機の特徴 | 8 |
| ご使用になる前に | 9 |
| 初めて本体を使用する際の設定 | 10 |
| デモモードについて | 11 |
| リモコンの準備 | 11 |
| フロントパネルの取り外しかた/ 取り付けかた | 12 |
| 各部のなまえ | 13 |

ここだけ読めばすぐ使えます

| | |
|--|----|
| 基本的な操作 | 16 |
| 電源 ON・OFF ソース切り換え 音量調節 | |
| DVDのふだんの操作 | 16 |
| ディスクをセットする ディスクを再生する タイトル・フォルダーを選ぶ チャプター・ファイル・トラックを選ぶ 早送り・早戻し ディスクを取り出す | |
| ラジオのふだんの操作 | 18 |
| バンドを選ぶ 選局 | |
| USB機器のふだんの操作 | 19 |
| USB 機器のファイルを再生する フォルダーを選ぶ 曲を選ぶ 早送り・早戻し | |
| iPodのふだんの操作 | 20 |
| iPod の曲を再生する 曲を選ぶ 早送り・早戻し | |
| よく使う機能をボタンですぐに 操作する | 21 |

DVD

| | |
|------------------------|----|
| リモコンの基本操作 | 22 |
| メニュー画面の操作 | 22 |
| PBCメニュー画面の操作 | 23 |
| DivX VODファイルを再生する | 23 |
| お気に入りの場面を登録する | 23 |
| タイトル（トラック）を指定する | 24 |
| チャプター（トラック）を 直接指定する | 24 |
| コマ送り再生をする | 25 |
| スロー再生をする | 25 |
| 再生中に音声言語を切り換える | 25 |
| 再生中に字幕言語を切り換える | 26 |
| 再生中にアングルを切り換える | 26 |
| 指定された場面に戻る | 26 |
| オートプレイを設定する | 27 |
| タイトルから曲やフォルダーを さがす | 27 |
| ファンクションメニューの 切り換えかた | 27 |
| 繰り返し再生する | 28 |
| 違う順序で再生する | 29 |
| 音声の出力方法を切り換える | 30 |
| JPEG画像を回転表示する | 30 |
| 再生を一時停止する | 30 |
| 音を補正して高音質化する | 31 |
| 再生モードを切り換える | 31 |
| 情報画面／タイトル画面を表示する | 32 |

ラジオ

| | |
|------------------------|----|
| 放送局を1局ずつ登録する | 34 |
| 登録した放送局を呼び出す | 34 |
| ファンクションメニューの 切り換えかた | 34 |
| 複数の放送局を自動的に登録する | 35 |
| 左右キーの機能を設定する | 35 |

USB

| | |
|-------------------------------|----|
| リモコンの基本操作 | 36 |
| DivX VOD ファイルを再生する | 36 |
| 曲やファイルを直接選ぶ | 36 |
| タイトルを見て再生したい ファイルやフォルダーを探す | 36 |
| ファンクションメニューの 切り換えかた | 37 |
| 情報画面／タイトル画面を 表示する | 38 |

iPod

| | |
|--------------------------|----|
| チャプターを選ぶ | 40 |
| 聞きたい曲などを探す | 40 |
| 曲などをアルファベットで検索する | 40 |
| iPodで選曲して、本機から再生する | 41 |
| ファンクションメニューの 切り換えかた | 42 |
| 同じ曲・ビデオやリストを 繰り返し再生する | 42 |
| いつもと違う順序で再生する | 43 |
| すべての曲をシャッフルしてから 再生する | 43 |
| 再生中の曲にリンクした曲を 再生する | 44 |
| オーディオブックの再生速度を 変更する | 44 |
| ワイド画面を設定する | 45 |
| 情報画面／タイトル画面を 表示する | 45 |

音の調節

| | |
|------------------------------|----|
| オーディオメニューの切り換えかた | 46 |
| 前後左右の音量バランスを調節する | 46 |
| イコライザーカーブを選ぶ | 47 |
| イコライザーカーブを調節する | 47 |
| 小さな音量でも聞きやすくする | 48 |
| サブウーファーのON / OFFと 位相切り換え | 49 |
| サブウーファーのカットオフ 周波数選択とレベル調節 | 49 |
| 各ソースの音量をそろえる | 50 |

DVD設定

| | |
|--------------------------|----|
| DVD設定メニューの切り換えかた | 51 |
| 基本字幕を設定する | 52 |
| 基本音声を設定する | 52 |
| メニュー言語を設定する | 53 |
| OSDの言語を設定する | 53 |
| 文字の種類を設定する | 53 |
| マルチアングルマーク表示を 設定する | 54 |
| 画面の縦横比を設定する | 54 |
| スライドショーの表示時間を 設定する | 55 |
| 視聴制限を設定する | 55 |
| DivXのカスタム字幕ファイルを 表示する | 56 |
| DivX VODの登録コードを確認する | 57 |

目次

初期設定

| | |
|--------------------------|----|
| 初期設定メニューの切り換えかた | 58 |
| 時計を合わせる | 59 |
| 外部機器 (AUX) をソースに 設定する | 59 |
| ミュート/アッテネートを 切り換える | 60 |
| ビデオ入力の設定を切り換える | 61 |
| ボタンのイルミネーションの色を 切り換える | 61 |
| ボタンとディスプレイの 明るさを調節する | 62 |
| リアスピーカー出力を設定する | 62 |
| RCA出力から出力される 信号を選ぶ | 62 |
| フィーチャーデモを ON / OFFする | 63 |
| スクロールの設定を切り換える | 63 |
| モニターの有無を設定する | 64 |
| デジタル出力の設定をする | 64 |
| ダウンサンプリング周波数を 設定する | 65 |

便利な機能

| | |
|-----------|----|
| 瞬時に音を消す | 66 |
| 時計を表示する | 66 |
| 交通情報を受信する | 66 |

取り付けの準備

| | |
|-----------------|----|
| 接続・取り付け部品を確認する | 68 |
| 取り付けの前に知ってほしいこと | 68 |
| 接続の前に知ってほしいこと | 69 |

接続・取り付けと動作確認

| | |
|-------------------------------------|----|
| 電源コードを接続する | 70 |
| リアスピーカー出力に サブウーファーを接続する① | 72 |
| リアスピーカー出力に サブウーファーを接続する② | 73 |
| リアスピーカー出力に サブウーファーを接続する③ | 74 |
| 別売アンプを使ってリアスピーカー またはサブウーファーを接続する | 75 |
| 外部映像機器・モニターの接続 | 76 |
| 純正ナビシステムなどへの接続 | 78 |
| 本体を取り付ける | 78 |
| 動作を確認する | 79 |

その他 (付録)

| | |
|------------------|----|
| 再生できるディスクについて | 80 |
| 本機で再生できるファイルについて | 81 |
| 再生可能な圧縮ファイルについて | 82 |
| 圧縮ファイルについて | 84 |
| USB機器について | 85 |
| iPodについて | 86 |
| 使用上の注意 | 86 |
| 言語コード | 88 |
| 故障かな?と思ったら | 89 |
| こんなメッセージが表示されたら | 91 |
| 保証書とアフターサービス | 94 |
| 商標・著作権など | 94 |
| 用語解説 | 95 |
| おもな仕様 | 98 |



本書のみかた

お買い上げ後すぐにお使いになりたいときは、「ここだけ読めばすぐ使えます」の項目をお読みください。DVD やラジオなどの基本的な操作方法を説明しています。

基本操作以外のリモコンや便利な機能については、「DVD」や「USB」、「音の調節」など、それぞれの項目をお読みください。



CD TEXT とは

●CD のタイトルや歌手名などの文字情報が収録されている CD です。レーベル面に下記のマークの付いている CD は CD TEXT ディスクです。下記マークの付いていない CD TEXT ディスクもあります。



本機の特徴

DVD ビデオ再生対応

本機は DVD ビデオの再生に対応しています。市販の DVD ビデオだけでなく、ビデオモードおよびビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で録画された DVD-R / RW や「1 回だけ録画可能」や「ダビング 10」の番組が録画された DVD-R / DVD-RW (CPRM 対応) の再生にも対応しています。

ビデオ CD の PBC 対応

PBC (プレイバックコントロール) 機能付きビデオ CD の再生に対応しています。

CD 再生対応

音楽 CD の再生に対応しています。また音楽 CD のデータが記録された CD-R / RW の再生に対応しています。

CD TEXT 再生対応

CD TEXT の再生に対応しています。

WMA / MP3 / AAC ファイル再生対応

WMA / MP3 / AAC ファイルが記録された CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW、USB 機器の再生に対応しています。CD-R / RW / ROM は、ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。また DVD-R / RW は、UDF1.02 および ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠して記録されたディスクが再生可能です。

DivX[®] ファイル再生対応

DivX ファイルが記録された CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW、USB 機器の再生に対応しています。

MPEG ファイル再生対応

MPEG ファイルが記録された CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW、USB 機器の再生に対応しています。

USB 機器コントロール対応

本機は、USB インターフェイス付きのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。対応する USB 機器については (➡「USB 機器について」85 ページ、「おもな仕様」98 ページ)

ご使用になる前に

- 本機は、USB Mass Storage Class 対応の USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB メモリーに収録されている WMA / MP3 / AAC ファイルを再生できます。対応する圧縮ファイルについては (→「再生可能な圧縮ファイルについて」82 ページ)

iPod コントロール対応

本機は、iPod を本機の USB インターフェースに接続して操作できます。

ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

Made for

- 第4世代 iPod touch : Ver. 4.3.1
 - 第3世代 iPod touch : Ver. 4.1
 - 第2世代 iPod touch : Ver. 4.2.1
 - 第1世代 iPod touch : Ver. 3.1.3
 - iPod classic 160G : Ver. 2.0.4
 - iPod classic 120G : Ver. 2.0.1
 - iPod classic : Ver. 1.1.2
 - iPod 第5世代 : Ver. 1.3
 - 第6世代 iPod nano : Ver. 1.0
 - 第5世代 iPod nano : Ver. 1.0.1
 - 第4世代 iPod nano : Ver. 1.0.4
 - 第3世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
 - 第2世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
 - 第1世代 iPod nano : Ver. 1.3.1
 - iPhone 4 : Ver. 4.3.3
 - iPhone 3GS : Ver. 4.1
 - iPhone 3G : Ver. 4.2.1
- 操作方法は、iPod ソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
 - 最新の情報については、カロツツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。
 - iPod を接続するには、別売の iPod 用 USB 変換ケーブル (例:「CD-IU51」) が必要です。
 - 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。

メモ

- iPod 接続時のご注意や iPod の設定については (→「iPod について」86 ページ)

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON (または ACC) にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリーは (→「放送局を1局ずつ登録する」34 ページ)、時計調節は (→「時計を合わせる」59 ページ) を参照して、再設定してください。オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

別売のモニターを接続したとき

本機に別売のモニターを接続してモニター出力設定 (→「モニターの有無を設定する」64 ページ) を ON すると、DVD ビデオなどの映像のほか、操作に関する画面を表示できます。表示や操作の方法は、それぞれのページを参照してください。

情報画面

タイトル画面

リスト画面

以下のソースのとき、表示できます。

DVD
USB/iPod

ソースとは

- SRC/OFF ボタンを押すごとに切り換わる、DVD やラジオなどの音源のことです。(→「基本的な操作」16 ページ)

初めて本体を使用する際の設定

本体の取り付け後、初めて車のイグニッションスイッチをONにしたときに、セットアップメニューが自動で起動します。最後のメニューまで設定して完了すると、各メニューの設定が適用されます。

1 本体を取り付けた後に、車のエンジンをかける

SET UP が表示されます。

2 ロータリーコマンドーを回して、YESを選ぶ



メモ

- セットアップメニューで設定しない場合、ロータリーコマンドーを回して、NO を選びます。



ご注意

- NO を選択すると、今後セットアップメニューでの設定はできません。その場合は、初期設定メニューで設定してください（→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ）。

3 ロータリーコマンドーを押して、セットアップメニューを表示する

4 ロータリーコマンドーを操作して、各メニューを設定する

以下の手順に従って、各メニューの設定を行ってください。

時計を合わせる (CLOCK SET)

- ① ロータリーコマンドーを回して、時を合わせる
- ② ロータリーコマンドーを押して、分に切り換える
- ③ ロータリーコマンドーを回して、分を合わせる
- ④ ロータリーコマンドーを押して、DEMO に切り換える

フィーチャーデモを ON / OFF する (DEMO)

- ① ロータリーコマンドーを回して、デモ設定を選ぶ
OFF (オフ)
↑
ON (オン)
- ② ロータリーコマンドーを押して、セットアップ確認画面に切り換える
QUIT が表示されます。



メモ

- 前のメニューに戻るには、 を押します。

5 ロータリーコマンドーを回して、YESに切り換える



メモ

- 設定画面に戻る場合は、NO に切り換えてください。

6 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

セットアップメニューでの設定が完了します。



ご注意

- 30 秒間何も操作しないと、セットアップメニューは自動的に解除されます。その場合はセットアップメニューでの設定はできなくなります。初期設定メニューで設定してください（→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ）。

デモモードについて

本機には、フィーチャーデモの機能があります。

📌 ご注意

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源を OFF にしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。
- 運転中のデモモードは、前方不注意などの原因となる場合があります。運転中はデモモードを解除するか、設定を OFF にしてください。

フィーチャーデモについて

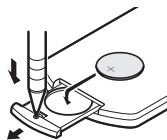
フィーチャーデモは、本機が電源 OFF のときや、約 30 秒間何も操作しないときに、各ソースや本機の機能（ファンクションやエンタテインメントなど）の画面を表示して紹介する機能です。フィーチャーデモを解除したいときは（➡「フィーチャーデモを ON/OFF する」63 ページ）車のエンジンを止めた状態でフィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

初めてお使いになるときは、電池ホルダーから出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。



リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。



フロントパネルの取り扱い上のご注意

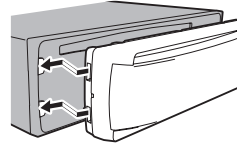
- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その場合に、フロントパネルおよび本体の端子部をさわらないようにしてください。接触不良の原因となることがあります。
- フロントパネルのデタッチを行うときは、フロントパネルから AUX/USB ケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- 安全のため、停車してからフロントパネルを外してください。

フロントパネルの取り付けかた

1

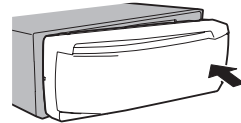
フロントパネルの左側を本体にあわせる

フロントパネルを本体の左側に確実に合わせてください



2

フロントパネルの右側を押し、本体に取り付ける



フロントパネルの取り外しかた

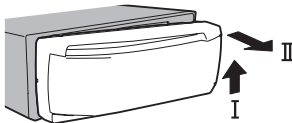
1

デタッチボタンを押して、ロックを解除する

2

フロントパネルの右側を上げ（Ⅰ）、手前に引いて取り外す（Ⅱ）

フロントパネルが外れます



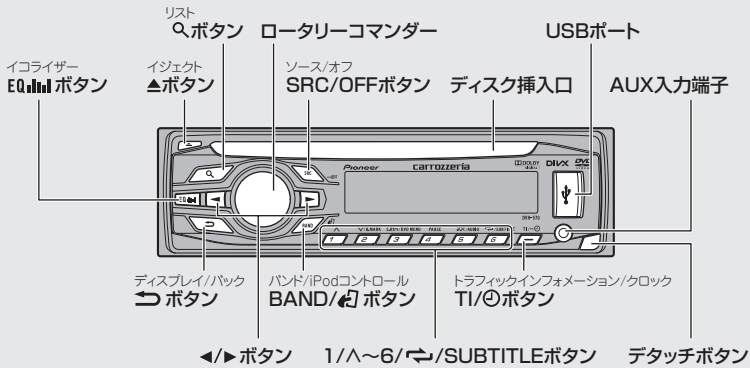
3

フロントパネルを保管する

取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください

各部のなまえ

本体



メモ

- ◀▶ ボタンの動作は、モニター出力の設定 (➡「モニターの有無を設定する」64 ページ) によって異なります。

ディスプレイ

メイン表示部

ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なる情報を表示します。

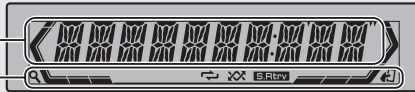
ラジオ：バンドと周波数

DVD：タイトル番号、チャプター番号、再生経過時間

オーディオCD：トラック番号と再生経過時間

WMA/MP3/AAC/DivX/JPEG/MPEG：フォルダー番号、ファイル番号と再生経過時間

ファンクション/オーディオ/初期設定：各種の設定内容



インジケータ表示部

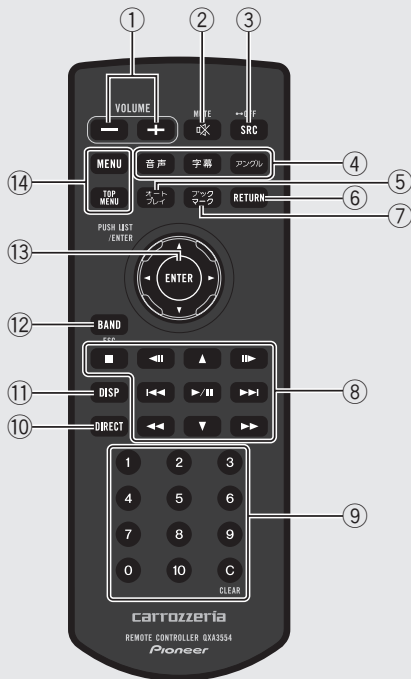
ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なるインジケータを表示します。

インジケータ表示について

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| Q | リストを表示しているときに、点灯します。 | SRTRV サウンドレトリバーの設定がONのときに点灯します。 |
| ↻ | リピート再生時に点灯します。 | 🔊 iPodから操作できるときに、点灯します。 |
| ⌘ | ランダム再生時に点灯します。 iPodでシャッフルプレイまたは全曲シャッフルをしているときに点灯します。 | |

リモコン

本体と同じなまえのボタンは、本体のボタンと同じ動きをします。



- ① (VOLUME) ボタン
(→「基本的な操作」16 ページ)
- ② (MUTE) ボタン
(→「瞬時に音を消す」66 ページ)
- ③ (SOURCE) ボタン
- ④ (音声) ボタン
 (字幕) ボタン
 (アングル) ボタン
- ⑤ (オートプレイ) ボタン
(→「オートプレイを設定する」27 ページ)
- ⑥ (RETURN) ボタン
- ⑦ (ブックマーク) ボタン
(→「お気に入りの場面を登録する」23 ページ)
- ⑧ (再生/一時停止) ボタン
 (早戻し/早送り) ボタン
 (スキップ) ボタン
 (コマ送り) ボタン
 (停止) ボタン
 (上下) ボタン
- ⑨ ①～⑩ (数字) ボタン
C (CLEAR) ボタン
- ⑩ (DIRECT) ボタン
- ⑪ (DISPLAY) ボタン
- ⑫ (BAND) ボタン
- ⑬ サムパッド
- ⑭ (MENU) ボタン
 (TOP MENU) ボタン

基本的な操作

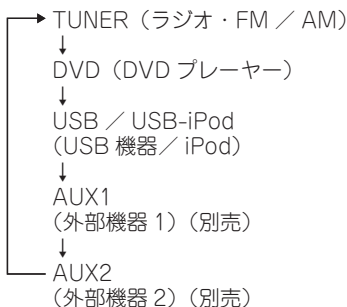
電源 ON・OFF ソース切り換え 音量調節

1 電源を ON にする

SRC/OFF ボタンを押す
本機の電源が ON になります。

2 ソースを切り換える

SRC/OFF ボタンを押す
SRC/OFF ボタンを押すごとに、次の順序でソースが切り換わります。



3 音量を調節する

ロータリーコマンドを回す
大きくするとき：右に回す
小さくするとき：左に回す

- 4 秒間、音量が表示されます。

4 電源を OFF にする

SRC/OFF ボタンを長く押す
本機の電源が OFF になります。

？ ソースとは

- SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、DVD やラジオなどの音源のことです。

✎ 知っているると便利

- リモコンの (+) / (-) ボタンを押して、音量を調節することもできます。

✎ メモ

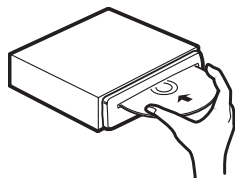
- 接続していないソースには切り換わりません。
- 音量の調整範囲は 0 ~ 62 です。
- ディスクをディスク挿入口に差し込んだときも、電源が ON になります。
- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- AUX (外部機器) の設定 (⇒「外部機器 (AUX) をソースに設定する」59 ページ) を OFF にしていると、AUX1 / AUX2 には切り換わりません。
- AUX1 は初期設定では AUDIO に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください (⇒「外部機器 (AUX) をソースに設定する」59 ページ)。
- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります (⇒70 ページ)。また、オートアンテナ車のアンテナを下げる場合は、電源 OFF にしてください。
- 時計を表示させている場合、電源を OFF にしても時計は表示されます。

DVD のふだんの操作

ディスクをセットする ディスクを再生する
タイトル・フォルダーを選ぶ チャプター・ファイル・トラックを選ぶ
早送り・早戻し ディスクを取り出す

1 ディスクをセットする

ディスクをディスク挿入口に差し込む



2 タイトル／フォルダーを選ぶ

1 / 入または 2 / V / B.MARK ボタンを押す

次のタイトル／フォルダーを選ぶとき：

1 / 入ボタンを押す

前のタイトル／フォルダーを選ぶとき：

2 / V / B.MARK ボタンを押す

- DVD、WMA / MP3 / AAC、DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4、JPEG 再生中に、操作できます。

知っているると便利

- リモコンのサムパッドを上下に操作することで、タイトル／フォルダーを選ぶことができます。

3 チャプター／ファイル／トラックを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のチャプター／ファイル／トラックを選ぶとき：▶ ボタンを押す


前のチャプター／ファイル／トラックを選ぶとき：◀ ボタンを押す

4 早送り／早戻しする

◀ / ▶ ボタンを長く押す

早送り：▶ ボタンを長く押す

早戻し：◀ ボタンを長く押す

- DVD、ビデオ CD、DivX ファイル再生中に、5 秒以上押し続けると、ボタンから手を離しても、早送り／早戻しを続けます。見たい場所で、リモコンの  ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- JPEG ファイル再生中は、10 ファイルごとにサーチします。

ご注意

- DVD やビデオ CD によっては、早送り／早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

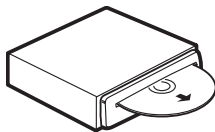
5 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC/OFF ボタンを押す（または長く押す）

6 ディスクを取り出す

▲ ボタンを押す




ディスクが出てきて、自動的に電源 OFF になります。



ご注意

- ディスクはレーベル面を上にして差し込みます。
- ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した 8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。
- 出たディスクはすぐに取り出して保管してください。ディスク挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。

知っているると便利

- メニュー付きの DVD では、メニュー画面が表示されます。この場合は、ロータリーコマンダーまたはリモコンのサムパッドで再生を開始してください。（▶「メニュー画面の操作」22 ページ）
- PBC（プレイバックコントロール）機能付きビデオ CD では、メニュー画面が表示されます（本機のディスプレイには、PBC と表示されます）。この場合、リモコンの  ～  ボタンで再生を開始してください。（▶「PBC メニュー画面の操作」23 ページ）
- 本機では、PBC を解除できません。
- WMA / MP3 / AAC ファイル、音楽 CD のデータ（CD-DA）、DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4 および JPEG ファイルが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるには、 ボタンを押します。再生は、それぞれ一番先頭のファイルから始まります。
- リモコンのサムパッドを上下左右に操作することで、本体の 1 / 入ボタン、2 / V / B.MARK ボタン、◀ / ▶ ボタンと同様の操作ができます。

次のページへ続く

メモ

- ディスクをセットしたまま、電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができます。
- 電源が OFF のときでも、▲ ボタンを押してディスクを取り出すことができます。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には FRMT READ と表示されます。
- ブックマーク機能でお気に入りの場면을登録してある場合、その場面から再生を開始します (⇒「お気に入りの場면을登録する」23 ページ)。
- オートプレイを ON に設定している場合、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始します (⇒「オートプレイを設定する」27 ページ)。
- VBR (可変ビットレート) で録音された WMA / MP3 / AAC ファイルを早送り / 早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ 選局

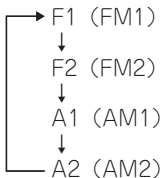
1 ソースをラジオにする

ソースが TUNER になるまで SRC / OFF ボタンを押す

2 バンドを選ぶ

BAND /  ボタンを押す

押すごとに、次の順序でバンドが切り換わります。



3 プリセット番号順に受信する

次のプリセットチャンネルを選ぶ
: ▶ を押す
前のプリセットチャンネルを選ぶ
: ◀ を押す

ご注意

- 左右キーを押したときの機能が MAN (手動選局) に設定されているときは、PCH (登録した放送局の選択) に切り換える必要があります (⇒「左右キーの機能を設定する」35 ページ)。

4 放送局を選ぶ (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ: ▶ を押す
低い周波数の放送局を選ぶ: ◀ を押す

ご注意

- 左右キーを押したときの機能が PCH (登録した放送局の選択) に設定されているときは、MAN (手動選局) に切り換える必要があります (⇒「左右キーの機能を設定する」35 ページ)。

5 放送局を自動で選ぶ (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ
: ▶ を長く押し離す
低い周波数の放送局を自動で選ぶ
: ◀ を長く押し離す

知っている则便利

- ◀ または ▶ ボタンを押している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。

6 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC / OFF ボタンを押す (または長く押す)

知っている则便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。
- リモコンの ▲ / ▼ でプリセットチャンネルの切り換え、◀ / ▶ ボタンを長く押し、放送局の自動選曲ができます。

メモ

- USB 機器または iPod を本機に接続したままラジオを聞くと、ノイズが出ることがあります。その場合は、USB 機器または iPod を本機から取り外してください。

USB 機器のふだんの操作

USB 機器のファイルを再生する フォルダーを選ぶ 曲を選ぶ 早送り・早戻し

1 USBポートのカバーを開けて、USB機器を接続する

ご注意

- USB 機器を本体に接続する際は、別売の USB ケーブル（例：CD-IU51E）を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり、危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。

2 USB機器のファイルを再生する

ソースが USB になるまで SRC/OFF を押す

3 フォルダーを選ぶ

1 / \ または 2 / V / B.MARK ボタンを押す

次のフォルダーを選ぶ
： 1 / \ ボタンを押す

前のフォルダーを選ぶ
： 2 / V / B.MARK ボタンを押す

4 ファイルを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のファイルを選ぶ： ▶ ボタンを押す
前のファイルを選ぶ： ◀ ボタンを押す

5 早送り／早戻しする

◀ / ▶ ボタンを押し続ける

早送り： ▶ ボタンを長く押す

早戻し： ◀ ボタンを長く押す

- DivX 再生中に 5 秒以上押し続けると、ボタンから手を離しても、早送り／早戻しを続けます。見たい場所でリモコンのボタンを押すと、その場所から再生されます。
- JPEG ファイル再生時には 10 ファイルごとにサーチします。

6 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC/OFF ボタンを押す（または長く押す）

ご注意

- 対応する USB 機器をご使用ください。ただし、対応する USB 機器でも正しく動作しない場合があります（➡「USB 機器について」85 ページ、「おもな仕様」98 ページ）。

知っている则便利

- USB 機器は、いつでも本機から取り外すことができます。
- WMA / MP3 / AAC ファイル、および JPEG ファイルが混在している USB 機器の場合、切り換えて再生できます。切り換えるには、BAND / ◀ ボタンを押します。再生はそれぞれ一番先頭のファイルから始まります。

メモ

- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB ソースでは、接続した USB 機器の情報を読みとる間、FRMT READ と表示されます。USB 機器の情報を読みとるため、再生までに時間がかかります。

iPod のふだんの操作

iPod の曲を再生する 曲を選ぶ 早送り・早戻し

別売の iPod 用 USB 接続ケーブル（例：CD-IU51）を使用して iPod を本機に接続すると、iPod を本機から USB-iPod ソースとして操作できます。対応している iPod について詳しくは（⇒「本機の特徴」8 ページ）

別売の iPod 用 USB 接続ケーブル（CD-IUV51M）を使用して iPod を本機に接続すると、iPod のビデオを再生できます。

1 USBポートのカバーを開けて、iPodを接続する

2 iPod のビデオ／曲を再生する

ソースが USB-iPod になるまで SRC/OFF ボタンを押す

3 チャプター／曲を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のチャプター／曲を選ぶとき：

▶ ボタンを押す

前のチャプター／曲を選ぶとき：

◀ ボタンを押す

4 早送り／早戻しする

◀ / ▶ ボタンを押す

早送り：▶ ボタンを長く押す

早戻し：◀ ボタンを長く押す

- ビデオ再生中に 5 秒以上押し続けると
◀ / ▶ ボタンから手を離しても、早送り／早戻しを続けます。見たい場所で、リモコンの [] ボタンを押すと、その場所から再生されます。

5 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC/OFF ボタンを押す（または長く押す）

📌 ご注意

- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- iPod を本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。

✍️ メモ

- 再生しているオーディオブック、Podcast やビデオファイル（コントロールモード中）などにチャプターがある場合、◀ または ▶ ボタンを押して、チャプターが選べます。
・次のチャプターを選ぶ：▶ を押す
・前のチャプターを選ぶ：◀ を押す
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- コントロールモードを AUDIO に設定した場合、本機に iPod が接続されている間、iPod で電源を OFF にすることができません（⇒「iPod で選曲して、本機から再生する」41 ページ）。
- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後に、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。
- iPod 接続時のご注意や iPod の設定については（⇒「iPod について」86 ページ）

よく使う機能をボタンで すぐに操作する

🔍 ボタン

- DVD、USB のときに押すと、トラック、ディスク、フォルダー / ファイルリストを表示します (➡「タイトルから曲やフォルダーをさがす」27 ページ、「タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーを探す」36 ページ)。
- iPod を接続しているときに押すと、ブラウズモードになります (➡「聞きたい曲などを探す」40 ページ)。
- iPod を接続しているときに長く押すと、リンクプレイの詳細設定画面を表示します (➡「再生中の曲にリンクした曲を再生する」44 ページ)。

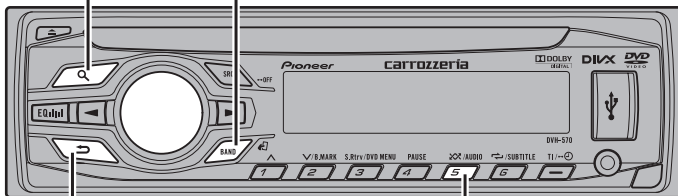


メモ

- リスト表示中に 🔍 ボタンを押すと、ふだんの再生画面に戻ります。
- ラジオのときは、使用できません。

BAND/🔄 ボタン

- ファンクションメニューやオーディオメニューなどの表示中に押すと、ふだんの再生画面に戻ります (初期設定メニュー表示中に押すと、電源が OFF になります)。
- ラジオのときに押すと、バンドが切り換わります。
- iPod ソースのときに押すと、コントロールモードの設定が切り換わります (➡「iPod で選曲して、本機から再生する」41 ページ)。



↶ ボタン

- 押すごとに、ディスプレイの表示を切り換えます。
- ファンクションメニューやオーディオ調節メニュー、初期設定メニューの表示中に押すと、1 つ上の階層に戻ります。

5/🔀 /AUDIO ボタン

- DVD および USB 再生中に押すと、ランダムプレイの ON / OFF を切り換えます。
- iPod を接続しているときに押すと、iPod にあるすべての曲をシャッフルして再生します。

リモコンの基本操作

再生を一時停止する

1 再生を一時停止する

再生中に、**[⏸]** ボタンを押す
映像が一時停止します。
再生するには、もう一度 **[▶]** ボタンを押します。



メモ

- この機能は、本体の 4/PAUSE ボタンでも操作できます。
- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、**[⏸]** (禁止マーク) が表示され、一時停止できないことがあります。

再生を止める

1 再生を停止する

[⏹] ボタンを押す
ディスク再生が停止します。
再生するには、**[▶]** ボタンを押します。



メモ

- 再生は、停止した場所から再開されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。
- 再生を停止してから **[⏹]** ボタンを押すと、前回停止した場所から再生されません。

次のチャプター（トラック）へ進む

1 チャプター（トラック）を進める

再生中に **[▶]** ボタンを押す
次のチャプター（トラック）に進みます。



メモ

- この機能は、本体の **[▶]** ボタンでも操作できます。

前のチャプター（トラック）へ戻る

1 チャプター（トラック）を戻す

再生中に **[◀]** ボタンを押す
再生中のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。



メモ

- この機能は、本体の **[◀]** ボタンでも操作できます。
- 連続して 2 度操作すると、1 つ前のチャプター（トラック）の初めに戻ります。

早送り／早戻しする

1 ディスクを早送り／早戻しする

再生中に **[⏮]** または **[⏭]** ボタンを押す
もう一度押すと早送り／早戻しの速度が上がります。

2

見たい場面を再生する

[⏮] ボタンを押す



メモ

- この機能は、本体の **[◀]** / **[▶]** ボタンでも操作できます。DVD や DivX、ビデオ CD 再生中に **[◀]** / **[▶]** ボタンを 5 秒以上押すと、**[⏮]** (早戻しマーク) / **[⏭]** (早送りマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送り／早戻しが継続されます。見たい場所で **[⏮]** ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ディスクによっては、早送り／早戻しできない場所があり、その場所では自動的に通常再生に切り換わります。

メニュー画面の操作

DVD ビデオの機能です。

リモコンを使ってメニュー画面でメニューを選べます。



メニュー画面を表示するには

- 再生中に、**(MENU)** ボタンまたは**(STOP)** ボタンを押すことで、メニュー画面を表示できます。**(MENU)** ボタンをもう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場面から再生できます。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

1

メニューを選ぶ

サムパッドを上下左右に操作する

2

選んだメニューを再生する

サムパッドを押す



知っている则便利

- この機能は、本体の3/S.Rtrv/DVD MENU ボタン、1/△ボタン、2/▽/B.MARK ボタン、◀/▶ ボタンとロータリーコマンド (押す) でも操作できます。

PBC メニュー画面の操作

ビデオ CD の機能です。

PBC (プレイバックコントロール) 機能付きビデオ CD を再生すると、メニュー画面が表示されます。



PBC メニュー画面を表示するには

- PBC 再生中に、**(RETURN)** ボタンを押すことで、メニュー画面を表示できます。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

1

メニューを選ぶ

① ~ ⑩ ボタンを押す

選んだメニューから再生されます。

3 を選ぶには、③ のボタンを押します。

10 を選ぶには、⑩、① の順に押します。

23 を選ぶには、⑩、⑩、③ の順に押します。



メモ

- サムパッドでは操作できません。
- メニュー画面が2ページ以上あるときは、**(◀) / (▶)** ボタンを押して表示を切り換えます。

DivX VOD ファイルを再生する

DivX の機能です。

DivX VOD ファイルを再生できます。



DivX VOD とは

- DivX VOD とは、「DivX Video On Demand」の略です。DivX VOD ファイルを再生する場合、その DivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。DVD の設定で本機の登録コードを確認できます (→「DivX VOD の登録コードを確認する」57 ページ)。

D
V
D

1

DivX VOD ファイルを再生する

視聴回数画面を表示中に、**(▶)** ボタンを押す



メモ

- DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生できます。
- DivX VOD ファイルの視聴回数制限を超えてしまった場合、本機のディスプレイには、EXPIRED と表示されます。再生できるファイルに切り換えてください。
- DivX VOD ファイルを再生したくない場合は、**(■)** ボタンを押します。
- 再生する DivX VOD ファイルを選ぶには、**(◀) / (▶)** ボタンを押します。

お気に入りの場面を登録する

DVD ビデオの機能です。

お気に入りの場面を本機に登録して、次に再生するときその場面から再生できます。

お気に入りの場面を登録する



本機に登録できる場面の数について

- 本機に登録できる場面の数は1枚のディスクにつき1場面です。5枚を超えるディスクでお気に入りの場面を登録した場合、一番古いディスクの登録内容が消されて、新しいディスクの場面を登録します。

1 お気に入りの場面を登録する



再生中に  ボタンを押す

登録したい場面でブックマークボタンを押すと、次回の再生は、登録した場面から再開されます。

知っていると便利

- この機能は、本体の 2/V/B.MARK ボタンでも操作できます。

メモ

-  ボタンで登録した場面を消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、 ボタンを 2 秒以上押してください。



再生を中断した場面を登録する

1 再生を中断した場面を登録する

再生中に本体の  ボタンを 2 秒以上押して、ディスクを取り出す

再生が中断され、ディスクが出てきます。再生を中断したときの場面が本機に登録され、次回の再生は、登録した場面から再開されます。

メモ



-  ボタンで登録した場面を消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、 ボタンを押してディスクを取り出してください。
- 本機に登録できるのは、ディスク 1 枚分です。


タイトル (トラック) を指定する


DVD、ビデオ CD の機能です。

リモコンを使ってタイトル (トラック) を選べます。

1 タイトル (トラック) を指定する

ディスク再生中に、 ~  ボタンを押す

3 を選ぶには、 のボタンを押します。

10 を選ぶには、、 と押します。

23 を選ぶには、、、 の順に押します。


メモ

- PBC 機能付きビデオ CD では、この操作はできません。

チャプター (トラック) を直接指定する


リモコンを使ってチャプター (トラック) を直接選べます。

1 チャプター (トラック) 番号入力画面を表示する

ディスク再生中に、 ボタンを押す

2 見たいチャプター (トラック) の番号を選ぶ

 ~  のボタンを押す

3 を選ぶには、 のボタンを押します。


10 を選ぶには、、 の順に押します。

 ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだチャプター (トラック) を再生する

もう一度  ボタンを押す

メモ

- PBC 機能付きビデオ CD では、この操作はできません。
- WMA / MP3 / AAC、DivX、JPEG 再生時は、再生しているフォルダー内のファイルだけ選べます。
- チャプター (トラック) 番号入力を解除するには、 ボタンを押します (約 8 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます)。


コマ送り再生をする

DVD、DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4、ビデオ CD の機能です。



再生中の映像を 1 コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 コマ送り再生をする

再生中に  ボタンを押す

ボタンを押すごとに、映像が 1 コマ送られます。通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。

メモ

- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り時に映像が乱れることがあります。
- コマ戻しはできません。
- DVD-VR ディスクに収録された静止画像を表示中に  ボタンを押すと、次の静止画像または映像に切り換わります。




スロー再生をする

DVD、DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4、ビデオ CD の機能です。

再生のスピードを遅くして見ることができます。


1 スロー再生をする

再生中に  ボタンを 1 秒以上押す

映像がスローで再生されます。通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。スロー再生中に、 または  ボタンを押すと、スロー再生の速度を変更できます。ボタンを押すごとに、次の順で速度が切り換わります。

1/16 ↔ 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2

メモ

- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4 では、スロー再生の速度は変更できません。

再生中に音声言語を切り換える

D
V
D


DVD、DivX、MPEG-4 の機能です。

言語や音声タイプ (ドルビーデジタルや DTS など) の違いで複数の音声収録されているディスクでは、再生中に音声を切り換えることができます。

1 音声選択マークを表示する

再生中に  ボタンを押す

2 音声を切り換える

音声選択マークが表示されている間に  ボタンを押す
ボタンを押すごとに、音声が切り換わります。

知っているとお便利

- この機能は、本体の 5/ AUDIO ボタンでも操作できます。

メモ

- ディスクによっては、DVD に収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 音声言語の切り換えは DVD 設定でも行うことができます。詳しくは、(➡「基本音声を設定する」52 ページ) をご覧ください。
- DTS 音声は、デジタル出力だけに対応しています。本機の光デジタル出力を接続していないとき、DTS 音声は出力されません。この場合は、DTS 以外の音声を選んでください。
- Dolby D や Mch などの表示は、DVD に収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

再生中に字幕言語を切り換える

DVD、DivX、MPEG-4 の機能です。

複数の字幕が収録されているディスクでは、再生中に字幕を切り換えることができます。

1 字幕選択マークを表示する

再生中に **[字幕]** ボタンを押す

2 字幕言語を切り換える

字幕選択マークが表示されている間に **[字幕]** ボタンを押す

ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。

知っている则便利

- この機能は、本体の 6/↔/SUBTITLE ボタンでも操作できます。

メモ


- ディスクによっては、DVD に収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 字幕の切り換えは DVD 設定でも行うことができます。詳しくは、(➡「基本字幕を設定する」52 ページ) をご覧ください。

再生中にアングルを切り換える

DVD ビデオの機能です。

複数の角度 (アングル) から撮影した映像が収録されている DVD では、再生中にアングルを切り換えることができます。

アングル切り換えができる場面にについて

- 本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下に  (マルチアングルマーク) を表示して知らせます。
- マルチアングルマーク表示の ON / OFF は、DVD の初期設定で行います。詳しくは、(➡「マルチアングルマーク表示を設定する」54 ページ) をご覧ください。

1 マルチアングルマークを表示する

再生中に **[アングル]** ボタンを押す

2 アングルを切り換える

マルチアングルマークとアングル番号が表示されている間に **[アングル]** ボタンを押す

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

知っている则便利

- この機能は、本体の 1/∧ボタンでも操作できます。

メモ

- 早送り / 早戻し中、スロー再生中、一時停止中に **[アングル]** ボタンを押すと、早送り / 早戻し、スロー再生、または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り換わりません。

指定された場面に戻る

DVD ビデオの機能です。

DVD であらかじめ指定されている場面に戻ることができます。

ご注意

- 戻るシーンが指定されていない DVD では、この機能は無効です。

1 指定されている場面に戻る

[RETURN] ボタンを押す

オートプレイを設定する

DVD ビデオの機能です。

DVD ディスク挿入と同時に、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始することができます。

1 オートプレイを ON にする

 ボタンを押す

A PLAY:ON と表示され、オートプレイの設定が ON になります。

もう一度押すと、OFF になります。

 メモ

- ディスクによっては、オートプレイを ON にしても、期待とおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイを OFF にしてください。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

音楽データや圧縮オーディオの再生中に、トラック番号や曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧（トラック／ファイル／フォルダーリスト）を見ながら、聞きたい曲、ファイル、フォルダーを選べます。

トラック／ファイル／フォルダーリストは、別売のモニターに表示されます。

1 トラック番号やトラック／ファイル／フォルダーリストを表示する

 ボタンを押す

2 再生したいトラック番号、曲名、ファイル名、フォルダー名を選ぶ


ロータリーコマンドーを回す




3 選んだトラック／曲／ファイルを再生する

ロータリーコマンドーを押す

4 ぶだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

 知っていると便利

- リスト表示中に  ボタンを押すと、現在再生中の曲にカーソルが移動します。また、 ボタンを押すと 1 つ前のリスト（1 つ上の階層）に戻ります。
-  ボタンを押して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
- リモコンのサムパッドを使って、トラック番号やトラック／フォルダー／ファイルリストを操作することもできます。
- モニター出力の設定を OFF にしている場合は、動作内容が異なります（→「モニターの有無を設定する」64 ページ）。

 メモ

- 文字表示は、英数字のみに対応しています。
- DVD ビデオおよびビデオ CD では、この操作はできません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、LIST と表示されます。
- タイトル／トラック／フォルダー／ファイルリストは、30 秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドーを押す

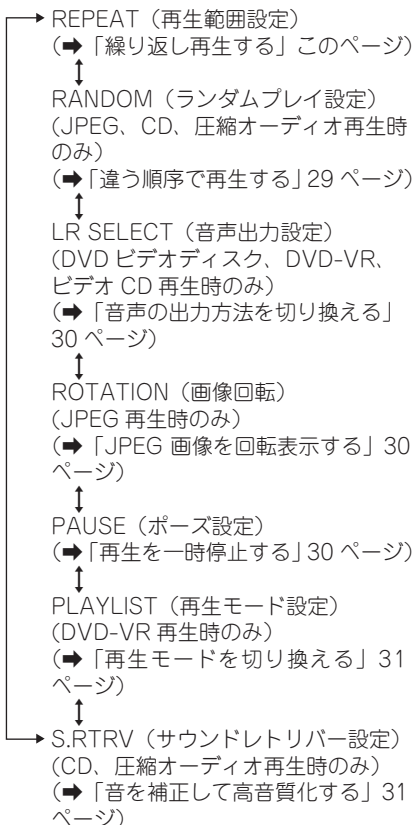
2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。



メモ

- PBC 機能付きビデオ CD では、REPEAT (再生範囲切替) には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ 4 ボタンを押します。

繰り返し再生する

REPEAT

繰り返し再生する範囲を設定できます。



設定の内容

ディスクリピート:

再生中のディスクを繰り返し再生します。

チャプターリピート:

再生中のチャプターを繰り返し再生します。

タイトルリピート:

再生中のタイトルを繰り返し再生します。

トラックリピート:

再生中のトラック (ファイル) を繰り返し再生します。

フォルダーリピート:

再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

1 ロータリーコマンドを操作して、REPEATにする

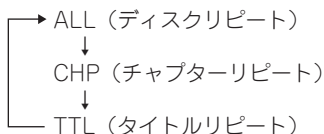
(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」27 ページ)

2 設定を切り換える

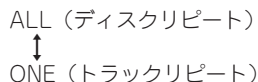
ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次の順序で切り換わります。

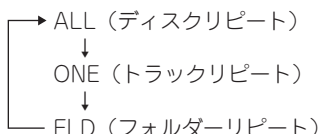
■ DVD 再生時



■ CD、ビデオ CD 再生時



■ WMA / MP3 / AAC、DivX 再生時



■ JPEG 再生時

ALL (ディスクリピート)



FLD (フォルダーリピート)

3 ローターコマンドを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

☰ ボタンを長く押しすと、メインメニューに戻ります。



知っていると便利

- ふだんの再生画面で 6/ /SUBTITLE ボタンを押して、再生範囲を切り換えることもできません (DVD 再生時は除く)。



メモ

- DVD オートプレイ (→「オートプレイを設定する」27 ページ) が ON に設定されている場合、再生範囲を設定できません。
- PBC 機能付きビデオ CD では、再生範囲の設定はできません。また、本機では PBC 再生は解除できません。
- フォルダーリピート再生中にほかのフォルダーを選んだときは、ディスクリピートに切り換わります。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内のファイルだけを再生します。サブフォルダー内のファイルは、再生しません。

違う順序で再生する

RANDOM

CD、WMA / MP3 / AAC、JPEGの機能です。

曲やファイルを順不同 (ランダム) に再生できます。いつもと違った順序で再生したいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます (→「繰り返し再生する」28 ページ)

2 ローターコマンドを操作して、RANDOMにする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」27 ページ)

3 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次のように切り換わります。

ON
↓
OFF

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す



知っていると便利

- ふだんの再生画面で 5/ /AUDIO ボタンを押して、ランダムプレイ設定を ON / OFF することもできます。



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。

CD : ディスクリピート

WMA / MP3 / AAC : フォルダーリピート

音声の出力方法を切り換える

LR SELECT

DVD、DVD-R、ビデオ CD の機能です。

音声の出力方法をステレオまたはモノラル、左右ミックスに切り換えることができます。



ご注意

- DVD ビデオでは、音声は LPCM のときだけ、音声の出力方法を切り換えることができます。
- デジタル出力の設定が、「ストリーム」に設定されていると、音声の出力方法は切り換えられません。Dual Mono モードで記録された DVD ビデオディスクを再生するときは、デジタル出力の設定を「リニア PCM」に設定してください。(→「デジタル出力の設定をする」64 ページ)。

1 ロータリーコマンドーを操作して、LR SELECTにする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」27 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

JPEG 画像を回転表示する

ROTATION

JPEG の機能です。

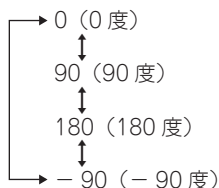
JPEG 画像を、回転して表示できます。回転する角度は 90 度ごとに設定できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、ROTATIONにする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」27 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

再生を一時停止する

PAUSE

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ローターコマンドーを操作して、PAUSEにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」27ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す
ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。



3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

- 知っていると便利
 - ふだんの再生画面で 4/PAUSE ボタンを押して、ポーズを ON / OFF することもできます。

音を補正して高音質化する

S.RTRV

CD、WMA / MP3 / AAC の機能です。

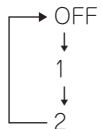
音の密度感や抑揚感を向上させて、再生できます。

1 ローターコマンドーを操作して、S.RTRVにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」27ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す
ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で切り換わります。



3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

- 知っていると便利
 - ふだんの再生画面で 3/S.Rtrv/DVD MENU ボタンを押して、サウンドレトリバーの設定を切り換えることもできます。
- メモ
 - 1 は低圧縮率の音声、2 は高圧縮率の音声に適しています。

再生モードを切り換える

PLAYLIST

DVD-VR の機能です。

ORIGINAL (オリジナルモード) または、PLAYLIST (プレイリストモード) のどちらかを選んで再生できます。

- メモ
 - プレイリストが作成されているディスクを再生したときだけ、PLAYLIST (再生モードの切り換え) が選べます。
- プレイリストとは
 - DVD レコーダーで作られたタイトルをオリジナルと呼びます。そして、オリジナルを元に編集用として作成したタイトルをプレイリストと呼びます。

1 ローターコマンドーを操作して、PLAYLISTにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」27ページ)

次のページへ続く


2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

ORIGINAL
↓
PLAYLIST

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/  ボタンを押す

情報画面／タイトル画面を表示する

別売のモニターに、さまざまな情報／タイトルを表示できます。

1 画面を切り換える

⏏ ボタンを押す

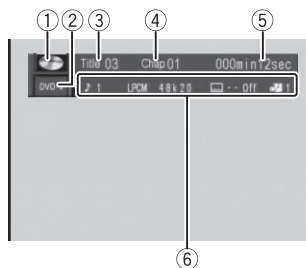
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

情報画面
↓
タイトル画面

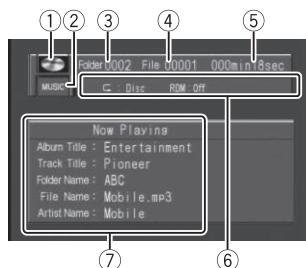
メモ

- DVD ビデオ、DVD-VR、ビデオ CD、DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4 再生時は、タイトル画面に切り換わりません。情報画面の⑥ 設定表示の内容が切り換わります。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

情報画面



タイトル画面



① ディスクの種類

WMA / MP3 / AAC ファイル、音楽 CD のデータおよび DivX ファイルが混在しているディスクの場合、「MIXED」と表示されます。

② メディアの種類

③ タイトル／フォルダー番号

④ チャプター／ファイル／トラック番号

⑤ 再生経過時間

⑥ 設定表示

DVD ビデオ再生時：

音声・字幕言語、アングル、再生範囲、音声出力の方法が表示されます。

DVD-VR ディスク再生時：

再生モード、音声タイプ、音声出力の方法、字幕設定、再生範囲、ディスク名、タイトル名が表示されます。

ビデオ CD 再生時：

再生範囲、音声出力の方法が表示されます。

DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4

再生時：

音声タイプ、字幕番号、再生範囲、フォルダー名、ファイル名が表示されます。

JPEG 再生時：

再生範囲、ランダム設定、フォルダー名、ファイル名が表示されます。

CD TEXT、WMA / MP3 / AAC 再生時：

再生範囲、ランダム設定が表示されます。

⑦ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

CD TEXT 再生時：

Disc Title (ディスクタイトル)

Disc Artist (ディスクアーティスト名)

Track Title (トラックタイトル)

Track Artist (トラックアーティスト名)

WMA / MP3 / AAC 再生時：

Album Title (アルバムタイトル)

Track Title (トラックタイトル)

Folder Name (フォルダー名)

File Name (ファイル名)

Artist Name (アーティスト名)

放送局を 1 局ずつ登録する

よく聞く放送局を 1 局ずつ手動で登録できます (プリセットメモリー)。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンドを選ぶ

BAND/ ボタンを押す

2 登録したい放送局を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す



- 左右キーの機能設定により、◀/▶ ボタンを押したときの機能が異なります (→「左右キーの機能を設定する」35 ページ)。

3 放送局を登録する

1 / 〰 ~ 6 /  / SUBTITLE のボタンの 1 つを長く押す

登録動作中に押したボタンの番号 (登録番号) が点滅します。登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。


登録した放送局を呼び出す

BSM やプリセットメモリーで登録した放送局を、手軽に受信できます。

1 放送局を登録したバンドを選ぶ

BAND/ ボタンを押す

2 登録した放送局を受信する

1 / 〰 ~ 6 /  / SUBTITLE のボタンの 1 つを押す。

ファンクションメニューの切り換えかた

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドーを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンドーを押す

3 機能を切り換える


ロータリーコマンドーを回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

BSM (→「複数の放送局を自動的に登録する」35 ページ)



SEEK (→「左右キーの機能を設定する」35 ページ)



- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ を押します (30 秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります)。

複数の放送局を自動的に登録する


BSM

受信状態の良い放送局を自動で探して登録できます。登録した放送局は、手軽に受信できます。

BSM とは

- BSMは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。

1 登録するバンドを選ぶ

BAND/ ボタンを押す

2 ロータリーコマンドーを操作して、BSMにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」34 ページ)

3 BSM による登録を始める

ロータリーコマンドーを押す

登録が完了すると、1/∧ボタンに登録した局の放送を受信します。もう1度押すと、途中解除します。

4 ふだんの受信画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

知っている则便利

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。たとえば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

左右キーの機能を設定する

SEEK

◀/▶ ボタンを押したときの機能の切り換えができます。◀/▶ ボタンで登録した放送局の切り換え、もしくは手動で選局することができます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SEEKにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」34 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

PCH (登録した放送局を切り換えるとき)



MAN (手動で選局するとき)

リモコンの基本操作

以下の操作方法は、DVDの場合と基本的に同じです（⇒「リモコンの基本操作」22ページ）。

再生を一時停止する

再生を止める

次のチャプター（トラック）へ進む

前のチャプター（トラック）へ戻る

早送り／早戻しする

DivX VOD ファイルを再生する

DivX の機能です。

再生方法は、DVDの場合と基本的に同じです（⇒「DivX VOD ファイルを再生する」23ページ）。

曲やファイルを直接選ぶ

リモコンを使って、再生したい曲やファイルを直接選べます。

1 再生したい曲やファイル番号入力画面を表示する

 ボタンを押す

2 再生したい曲やファイルの番号を入力する

①～⑨ ボタンを押す

3 を選ぶには、③ のボタンを押します。

10 を選ぶには、①、⑩ の順に押します。

③ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。


3 選んだ曲／ファイルを再生する

 ボタンを押す



メモ

●再生しているフォルダー内の曲（ファイル）だけが選べます。

●曲番号入力画面を解除するには、 ボタンを押します。約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。

タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーを探す

WMA / MP3 / AAC の機能です。

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。

フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1 フォルダー／ファイルリストを表示する

 ボタンを押す

2 再生したいフォルダー／ファイルを選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、フォルダー／ファイルが切り換わります。

3 選んだフォルダーに収録されている、フォルダー／ファイルリストを表示する

ロータリーコマンドを押す

選んだフォルダーに収録されている、フォルダー／ファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルを選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、フォルダー／ファイルが切り換わります。

5 ファイルを再生する





ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます。

6 再生画面に戻す

BAND/  ボタンを押す

知っているとお便利

- リスト表示中に  ボタンを押すと、現在再生中の曲にカーソルが移動します。また、 ボタンを押すと1つ前のリスト(1つ上の階層)に戻ります。
-  ボタンを押して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
-  ボタンを押して、選んだファイルを再生することもできます。
- リモコンのサムパッドを使って、フォルダー／ファイルリストを操作することもできます。
- モニター出力の設定をOFFにしている場合は、動作内容が異なります(⇒「モニターの有無を設定する」64ページ)。

メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、LIST と表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

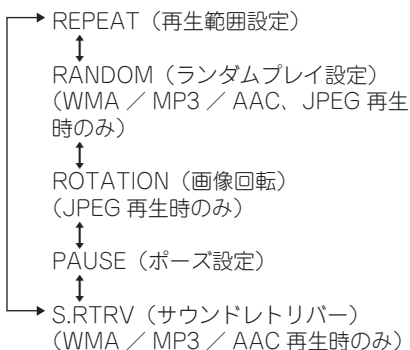
2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す


3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。



メモ

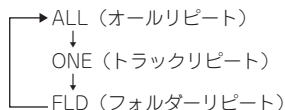
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/  ボタンを押します。約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。

ファンクションメニューの機能は、DVD の場合と基本的に同じです。操作方法については、DVD のページをご覧ください。

機能 操作

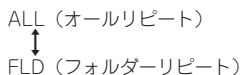
(→「繰り返し再生する」28 ページ)
切り換わる再生範囲は、DVD の場合とは異なります。

■ WMA / MP3 / AAC、DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4 再生時



REPEAT

■ JPEG 再生時



オールリPEAT:
すべての曲を繰り返し再生します。
トラックリPEAT:
再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダリPEAT:
再生中のフォルダを繰り返し再生します。

RANDOM (→「違う曲順で再生する」29 ページ)

ROTATION (→「JPEG 画像を回転表示する」30 ページ)

PAUSE (→「再生を一時停止する」30 ページ)

S.RTRV (→「音を補正して高音質化する」31 ページ)

情報画面 / タイトル画面を表示する

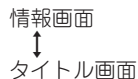
別売のモニターに、さまざまな情報 / タイトルを表示できます。

1 画面を切り換える

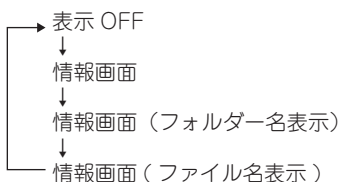
⏏ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で画面が切り換わります。

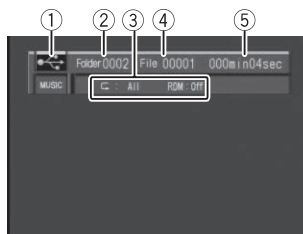
■ WMA / MP3 / AAC



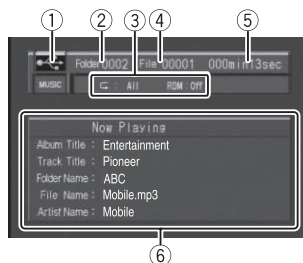
■ DivX、JPEG、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4



情報画面



タイトル画面



① ソースの種類

② フォルダー番号

③ 設定表示

DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4

再生時：

音声タイプ、字幕番号、再生範囲、フォルダー名、ファイル名が表示されます。

JPEG 再生時：

再生範囲、ランダム設定、フォルダー名、ファイル名が表示されます。

WMA / MP3 / AAC 再生時：

再生範囲、ランダム設定が表示されます。

④ ファイル番号

⑤ 再生経過時間

⑥ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

Album Title (アルバムタイトル)

Track Title (トラックタイトル)

Folder Name (フォルダー名)

File Name (ファイル名)

Artist Name (アーティスト名)



メモ

- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

チャプターを選ぶ

再生しているオーディオブックや Podcast にチャプターがある場合、チャプターを選べます。

1 チャプターを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のチャプターを選ぶとき：▶ ボタンを押す
前のチャプターを選ぶとき：◀ ボタンを押す

聞きたい曲などを探す

プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者、オーディオブックのリストから、再生したい曲などを選べます。リストは、別売のモニターに表示されます。ビデオ再生機能に対応している iPod の場合は、ミュージックまたはビデオを選択するリストも表示されます。

1 ブラウズモードにする

Q ボタンを押す

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンドを回して項目を選び、ロータリーコマンドを押す

3 項目を絞り込む

手順 2 の操作を繰り返して、項目を絞り込む

4 選ぶ


ロータリーコマンドを回して選び、ロータリーコマンドを押す

再生が始まります。

知っていると便利

- リスト表示中に **Q** ボタンまたは **◀** ボタンを押すと、1 つ前のリスト (1 つ上の階層) に戻ります。
- アルファベット順に表示する項目のときに、**Q** ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります (→「曲などをアルファベットで検索する」このページ)。
- 再生したい項目を選んでいるときにロータリーコマンドを長く押すと、その項目内のファイルを最初からすべて再生できます。▶ ボタンを長く押すことでも可能です。
- ▶ ボタンを押して、項目を選ぶこともできます。
- リモコンのサムパッドを使ってリストを操作することもできます。
- モニター出力の設定を OFF にしている場合は、動作内容が異なります (→「モニターの有無を設定する」64 ページ)。

メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、LIST と表示されます。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND /  ボタンを押します。30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。

曲などをアルファベットで検索する

アーティストやアルバムなどのリスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して曲などを検索できます。

ご注意

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベットおよび数字で記録されているものが対象です。

1 アーティストやアルバムなどのリストを表示する

(→「聞きたい曲などを探す」40 ページ)の手順 1～3 を参照して、アーティストやアルバムなどのリストを表示する

2 アルファベットサーチモードに切り換える

リスト表示中に ボタンを押す

3 アルファベットを選ぶ

ロータリーコマンドを回してアルファベットを指定し、ロータリーコマンドを押す

指定したアルファベットの最初のアーティストやアルバムなどにカーソルが合った状態で、リストが表示されます。

対象がなかったときは、NOT FOUND と表示されて、リスト表示に戻ります。

4 曲を選ぶ

(→「聞きたい曲などを探す」40 ページ)の手順 2～4 を参照して、選ぶ

iPod で選曲して、本機から再生する

選曲などの操作を、本機と iPod のどちらで行うかを切り換えられます。iPod に設定すると、iPod の見慣れた画面で操作できます。日本語のタイトルも、そのまま見て曲を選べるので便利です。

APP に設定すると、iPod アプリケーションからの音声を本機で再生できます。

ご注意

- 以下の iPod では本機能は使用できません。
 - ・第 5 世代 iPod
 - ・第 1 世代 iPod nano
- 最新の情報については、カロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。

- APP モードに対応しているのは以下の iPod です。

- － 第 6 世代 iPod nano
- － 第 5 世代 iPod nano
- － 第 4 世代 iPod nano
- － 第 3 世代 iPod nano
- － 第 2 世代 iPod nano
- － 第 1 世代 iPod nano
- － 第 4 世代 iPod touch
- － 第 3 世代 iPod touch
- － 第 2 世代 iPod touch
- － 第 1 世代 iPod touch
- － iPod classic 160G
- － iPod classic 120G
- － iPod classic
- － iPhone 4
- － iPhone 3GS
- － iPhone 3G

設定の内容

iPod :

iPod で選曲などの操作をします。

APP :

APP モードに対応している iPod で、iPod アプリケーションからの音声を再生します。

AUDIO :

本機で選曲などの操作をします。

1 ソースを iPod にする

SRC/OFF を押す

(→「基本的な操作」16 ページ)

2 コントロールモードを切り換える

BAND/ ボタンを押す

押すごとに iPod、APP、AUDIO に切り換わります。

知っている则便利

- AUDIO に切り換えると、ふだんの再生画面に切り換わります。
- iPod/APP に切り換えると再生が停止されます。iPod を操作して、再生してください。
- iPod/APP に設定していても、本機から次の操作ができます。
 - ・一時停止
 - ・選曲
 - ・早送り/早戻し
 - ・タイトルの表示切り換え
 - ・PAUSE と S.RTRV 機能の設定 (→「ファンクションメニューの切り換えかた」42 ページ)



ご注意

- iPod に設定した場合は、以下の制限があります。
 - ・ファンクションメニューは、CTRL および S.RTRV 以外には切り換わりません。
 - ・ブラウズモード(⇒「聞きたい曲などを探す」40 ページ)には切り換わりません。
 - ・音量は本機からしか調節できません。
 - ・DVD 設定には切り換わりません。

ファンクションメニューの切り換えかた

「同じ曲・ビデオやリストを繰り返し再生する」「いつもと違う順序で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドーを押す

2 ファンクションメニューにする

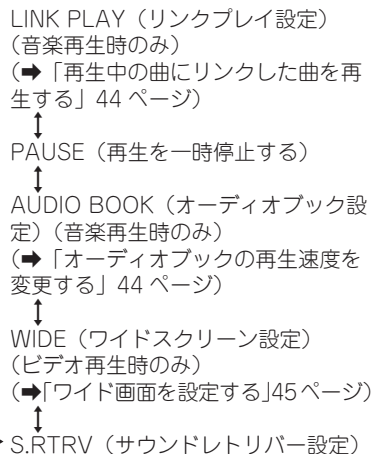
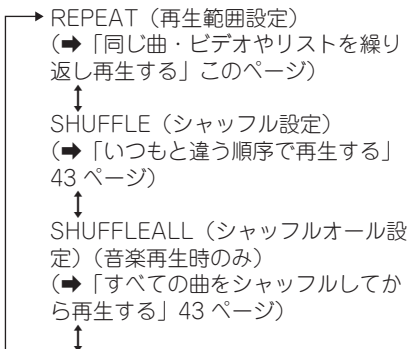
ロータリーコマンドーを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンドーを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

■ 再生しているとき



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/◀▶ ボタンを押します。約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。

同じ曲・ビデオやリストを繰り返し再生する

REPEAT

曲やビデオを繰り返し(リピート)再生できません。繰り返しの範囲は、再生している曲やビデオ、いま聞いているリストから選べます。



設定の内容

- 1 曲リピート：
再生している曲やビデオを繰り返し再生します。
- リスト内全曲リピート：
いま聞いているリスト内のすべての曲やビデオを繰り返し再生します。



ご注意

- 1 曲リピートを選ぶと、◀/▶ ボタンで曲を選ぶことはできなくなります。

1 ロータリーコマンドーを操作して、REPEATにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す


ロータリーコマンドを押すごとに、次のように切り換わります。

ONE (1 曲リピート)




ALL (リスト内全曲リピート)

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/  ボタンを押す

知っているとう便利

- ふだんの再生画面で6/  /SUBTITLE ボタンを押すことでも、再生範囲を切り換えることができます。

いつもと違う順序で再生する

SHUFFLE

曲・ビデオやアルバムを順不同(ランダム)に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

設定の内容

ソングシャッフル:

いま聞いているリスト内の曲やビデオをランダムに再生します。

アルバムシャッフル:

アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番どおりに再生します。

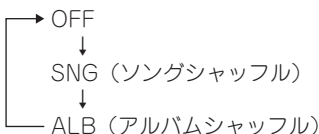
1 ロータリーコマンドを操作して、SHUFFLEにする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」42 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次の順序で切り換わります。



3 ロータリーコマンドを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/  ボタンを押す

すべての曲をシャッフルしてから再生する

SHUFFLEALL

iPod のミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同(ランダム)に再生できます。


1 ロータリーコマンドを操作して、SHUFFLEALLにする

(→「ファンクションメニューの切り換えかた」42 ページ)

2 シャッフルオールを ON にする

ロータリーコマンドを押す
全曲シャッフルされて、再生が始まります。

知っているとう便利

- ふだんの再生画面で5/  /AUDIO ボタンを押すことでも、シャッフルオールを ON にすることができます。
- シャッフルオールを解除するには、シャッフル設定で OFF を選びます (→「いつもと違う順序で再生する」このページ)。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

LINK PLAY

再生中の曲にリンクした曲を再生できます。リンクできるのは、次のリストの曲です。

- ・再生中のアーティストのアルバムリスト
- ・再生中のアルバムに収録されている曲のリスト
- ・再生中のジャンルのアルバムリスト



ご注意

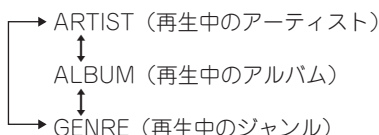
- iPod に保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。

1 ロータリーコマンドーを操作して、LINK PLAYにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」42 ページ)

2 リンク元を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回すロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを押して、リンク元を決定する

リストの検索が開始されます。検索後、曲の再生が始まります。



ご注意

- 本機に対応していない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。
- リンクを元に関連したリストがない場合は、NOT FOUND と表示されます。



知っている则便利

- ふだんの再生画面で ボタンを長く押すことでも、リンクプレイ設定への切り換えが操作できます。

オーディオブックの再生速度を変更する

AUDIO BOOK

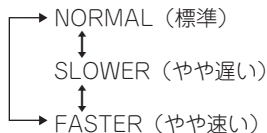
オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、AUDIO BOOKにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」42 ページ)

2 再生速度を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回すロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

ワイド画面を設定する

WIDE

iPod でビデオを再生中に、表示モードをワイド (16 : 9) に切り換えることができます。

1 ローターコマンドを操作して、WIDEにする

(⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」42 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次のように切り換わります。

ON
↓
OFF

3 ぶだんの再生画面に戻す

BAND/↶ ボタンを押す

情報画面／タイトル画面を表示する

別売のモニターに、さまざまな情報／タイトルを表示できます。

1 画面を切り換える

↶ ボタンを押す

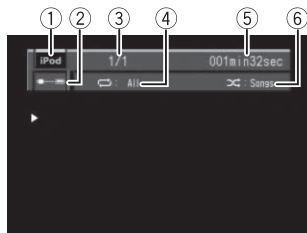
ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

情報画面
↓
タイトル画面

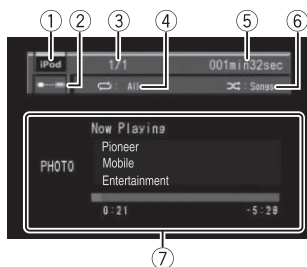
メモ

- iPod ビデオ再生時は、切り換えできません。

情報画面



タイトル画面



① ソースの種類

② 給電状態

iPod への給電状態が表示されます。

③ 曲番号

④ 再生範囲

⑤ 再生経過時間

⑥ シャッフル設定

⑦ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

アルバムアート

曲名

アーティスト名

アルバム名

再生経過時間

メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。
- iPod の曲にアルバムアートが登録されていない場合は、PHOTO と表示されます。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

オーディオメニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調節機能を使うときは、オーディオメニューで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドーを押す

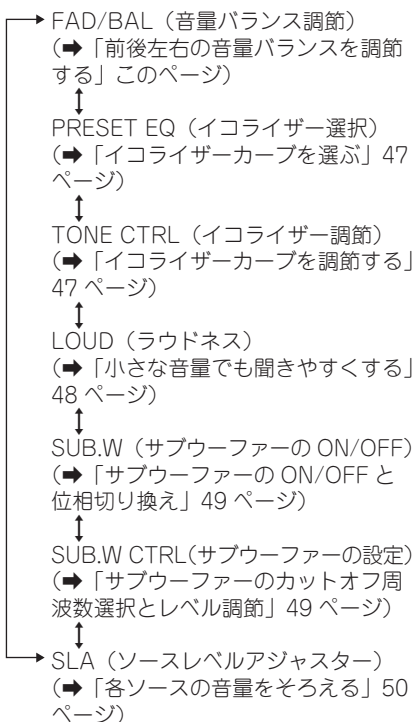
2 オーディオメニューにする

ロータリーコマンドーを回してAUDIOを選び、ロータリーコマンドーを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



メモ

- FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。
- 交通情報を受信しているときは、FAD/BAL のみ選択できます。
- SUB.W を OFF に設定しているときは、SUB.W CTRL には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ ボタンを押します。また、約 30 秒間、何も操作しなかったときは自動で戻ります。

前後左右の音量バランスを調節する

FAD/BAL

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 ロータリーコマンドーを操作して、FAD/BALにする

(⇒「オーディオメニューの切り換えかた」このページ)

2 音量バランス調節画面にする

ロータリーコマンドーを押す

3 調節の対象を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

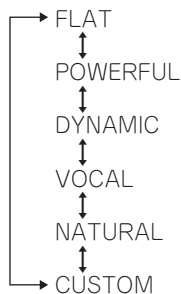
FAD (フェーダー)
↓
BAL (バランス)

4 調節する

ロータリーコマンドーを回す

前後 (FAD) のバランスは、F15 ~ R15 の範囲で調節できます。

左右 (BAL) のバランスは、L15 ~ R15 の範囲で調節できます。



5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

イコライザーカーブを選ぶ

PRESET EQ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調節できます。

イコライザーは、FLAT / POWERFUL / DYNAMIC / VOCAL / NATURAL / CUSTOM の計 6 種類です。

1 ロータリーコマンドーを操作して、PRESET EQにする

(⇒「オーディオメニューの切り換えかた」46 ページ)

2 イコライザー選択画面にする

ロータリーコマンドーを押す

3 イコライザーカーブを選ぶ

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ ボタンを押す

メモ

- CUSTOM には、好みに合わせて調節したイコライザーカーブが登録されています。
- FLAT では、イコライザーによる音の補正がされていません。イコライザーの効果を確認するときに使用すると便利です。
- イコライザーカーブは ボタンを押して切り換えることもできます。

イコライザーカーブを調節する

TONE CTRL

あらかじめ用意されたイコライザーカーブに、簡単な補正を加えることができます。これにより、より好みに合った音質を作り出すことができます。

設定したイコライザーカーブは、自動的に CUSTOM に登録されます。

1 調節のもとになるイコライザーカーブを選ぶ

2 ロータリーコマンドーを操作して、TONE CTRLにする

(→「オーディオメニューの切り換えかた」46 ページ)

3 イコライザー調節画面にする

ロータリーコマンドーを押す

4 調節の対象を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で切り換わります。



5 レベル調節する

ロータリーコマンドーを回す

レベルは、+6～-6の範囲で調節できます。

6 手順4、5の操作を繰り返して、各音域の調節をする

7 ふだんの再生画面に戻す

BAND/🔊 ボタンを押す

小さな音量でも聞きやすくする

LOUD

小さな音量で音楽を聞いていると、低音や高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスを使うと、この不足感を補って、音を聞きやすくすることができます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、LOUDにする

(→「オーディオメニューの切り換えかた」46 ページ)

2 ラウドネスの効果を選ぶ

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で切り換わります。



3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/🔊 ボタンを押す

サブウーファースの ON / OFF と位相切り換え

SUB.W

本機にサブウーファースを接続して使用する場合は、サブウーファースの設定を ON にする必要があります。ON にしたあと、サブウーファースから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。

位相切り換えとは

- サブウーファースから出力される音の中には、フロント／リアスピーカースから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

正相：サブウーファースの音が、フロント／リアスピーカースと同時に出力される

逆相：サブウーファースの音が、フロント／リアスピーカースとタイミングをずらして出力される

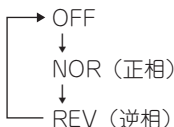
1 ロータリーコマンドースを操作して、SUB.W にする

(⇒「オーディオメニューの切り換えかた」46 ページ)

2 サブウーファースの位相を選ぶ

ロータリーコマンドースを押す

ロータリーコマンドースを押すごとに、次の順序で切り換わります。



3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/🔊 ボタンを押す

サブウーファースのカットオフ周波数選択とレベル調節

SUB.W CTRL

サブウーファースから出力される低音域（カットオフ周波数）と出力レベルを設定します。他のスピーカースから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。

カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファースのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1 ロータリーコマンドースを操作して、SUB.W CTRL にする

(⇒「オーディオメニューの切り換えかた」46 ページ)

2 設定内容を切り換える

ロータリーコマンドースを押す

ロータリーコマンドースを押すごとに、次のように切り換わります。

周波数設定：周波数表示が点滅



レベル設定：レベル表示が点滅

3 サブウーファース調整をする

ロータリーコマンドースを回す

■周波数設定を調節するとき

高い周波数を選ぶとき：右に回す
低い周波数を選ぶとき：左に回す

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz の中から選べます。

■レベルを調節するとき

レベルを大きくするとき：右に回す
レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは、- 24 ~ + 6 の範囲で調節できます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/  ボタンを押す

各ソースの音量を そろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。

SLA とは

- SLA は、「Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SLAにする

(⇒「オーディオメニューの切り換えかた」46 ページ)

ご注意

- FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。

2 SLA 設定画面にする

ロータリーコマンドーを押す

3 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを回す

レベルは、+ 4 ~ - 4 の範囲で調節できます。

4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されません。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/  ボタンを押す

メモ

- AM と交通情報、DVD ビデオ / DVD-R、DVD の DivX / ビデオ CD / CD / WMA / MP3 / AAC、USB の DivX / USB / USB-iPod はそれぞれ同じ設定になります。

DVD 設定メニューの切り換えかた

音声、字幕、視聴制限など DVD の設定を変更できます。

📌 ご注意

- DVD 設定は、別売のモニターの使用時だけ操作できます。
- 本書では、リモコンを使用した場合の DVD 設定について説明しています。

1 ソースを DVD に切り換える

SRC/OFF ボタンを押す

2 ディスクの再生を停止する

⏏ ボタンを押す

3 DVD 設定メニューにする

Ⓜ ボタンを押す

✍ 知っていると便利

- 設定画面の表示中に (RETURN) ボタンを押すと、DVD 設定メニューの画面に戻ります。
- DVD 設定メニューの画面、設定画面の表示中に (MENU) ボタンを押すと、再生停止の状態に戻ります。

4 DVD 設定のカテゴリーを選ぶ

サムパッドを左右に操作する

サムパッドを左右に操作すること、次のように切り換わります。

言語
↓
映像
↓
一般

5 設定項目を選ぶ

サムパッドを上下に操作する

サムパッドを上下に操作すること、次のように項目が切り換わります。

■ 言語

基本字幕
(⇒「基本字幕を設定する」52 ページ)
↓
基本音声
(⇒「基本音声を設定する」52 ページ)
↓
メニュー言語
(⇒「メニュー言語を設定する」53 ページ)
↓
OSD 言語選択
(⇒「OSD の言語を設定する」53 ページ)
↓
文字コード選択
(⇒「文字の種類を設定する」53 ページ)

■ 映像

マルチアングル表示
(⇒「マルチアングルマーク表示を設定する」54 ページ)
↓
テレビアスペクト
(⇒「画面の縦横比を設定する」54 ページ)
↓
スライドショー時間設定
(⇒「スライドショーの表示時間を設定する」55 ページ)

■ 一般

視聴制限設定
(⇒「視聴制限を設定する」55 ページ)
↓
DivX 字幕
(⇒「DivX のカスタム字幕ファイルを表示する」56 ページ)
↓
DivX VOD
(⇒「DivX VOD の登録コードを確認する」57 ページ)

6 選んだ項目の設定画面を表示する

サムパッドを押す

設定画面で (MENU) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

基本字幕を設定する

基本字幕

字幕として優先したい言語を設定できます。

1 サムパッドを操作して、基本字幕にする

(⇒「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 基本字幕の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 設定する言語を選ぶ

サムパッドを上下に操作する
サムパッドを上下に操作して、言語を選んでください。

■「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード」(⇒88 ページ)を参照して、4桁の言語コードを①～⑨ボタンで入力してください。⑩ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

4 選んだ言語を設定する

サムパッドを押す

メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- **[字幕]** ボタンまたは本体の6/**⇄**/SUBTITLE ボタンで、再生中に字幕の言語を切り換えることもできます。(⇒「再生中に字幕言語を切り換える」26 ページ)。
- **[字幕]** ボタンまたは本体の6/**⇄**/SUBTITLE ボタンで字幕の言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。

基本音声を設定する

基本音声

音声として優先したい言語を設定できます。

1 サムパッドを操作して、基本音声にする

(⇒「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 基本音声の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 言語を設定する

「基本字幕を設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作で言語を設定する(⇒このページ)

メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- **[音声]** ボタンまたは本体の5/**✕**/AUDIO ボタンで、再生中に音声言語を切り換えることもできます。(⇒「再生中に音声言語を切り換える」25 ページ)。
- **[音声]** ボタンまたは本体の5/**✕**/AUDIO ボタンで音声言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。

メニュー言語を設定する

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として、優先したい言語を設定できます。

1 サムパッドを操作して、メニュー言語にする

(⇒「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 メニュー言語の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 言語を設定する

「基本字幕を設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作で言語を設定する (⇒52 ページ)

メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

OSD の言語を設定する

OSD 言語選択

情報画面、DVD 設定、リストで表示される言語 (OSD) を設定できます。

1 サムパッドを操作して、OSD 言語にする

(⇒「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 OSD言語の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 言語を選ぶ

サムパッドを上下に操作する
サムパッドを上下に操作することに、次のように切り換わります。

ENGLISH (英語)
↑
日本語
↓
РУССКИЙ (ロシア語)

4 選んだ言語を設定する

サムパッドを押す

文字の種類を設定する

文字コード選択

DivX 字幕、情報画面、リストで表示される文字の種類を設定できます。

設定の内容

ISO-8859-1
ラテン系言語の表示に適した設定です。
Windows-1251
ISO-8859-5
キリル文字の表示に適した設定です。

1 サムパッドを操作して、文字コード選択にする

(⇒「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 文字の種類の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 文字の種類を設定する

サムパッドを上下に操作する

サムパッドを上下に操作するごとに、次のように切り換わります。

ISO 8859-1
↓
WINDOWS1251
↓
ISO 8859-5

4 選んだ文字の種類を設定する

サムパッドを押す

マルチアングルマーク表示を設定する

マルチアングル表示

複数のアングルが収録されたディスクで、アングルが切り換えできる場面を再生している間、画面左下にマルチアングルマークを表示できます。

1 サムパッドを操作して、マルチアングル表示にする

(⇒「DVD設定メニューの切り換えかた」51ページ)

2 設定を切り換える

サムパッドを押す

サムパッドを押すごとに、次のように切り換わります。

オン
↓
オフ

画面の縦横比を設定する

テレビアスペクト

画面の表示比率を設定します。ディスクに収録された映像(画像)の比率に合わせて設定します。

設定の内容

16:9

ワイドモニターに最適な設定です。

レターボックス

上下に黒い帯のある画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。

パンスキャン

左右の切れた画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。

1 サムパッドを操作して、テレビアスペクトにする

(⇒「DVD設定メニューの切り換えかた」51ページ)

2 画面の縦横比の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 表示比率を選ぶ

サムパッドを上下に操作する

サムパッドを上下に操作するごとに、次のように切り換わります。

16:9
↓
レターボックス
↓
パンスキャン

4 表示比率を設定する

サムパッドを押す

メモ

- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」での再生になります。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- DivX ファイル再生時は、テレビアスペクトの設定によっては、画像の左右および上下に黒帯が付くことがあります。

スライドショーの表示時間を設定する

スライドショー時間設定

本機は、JPEG ファイルでスライドショーを表示できます。この設定では、スライドショーの表示時間を設定できます。

設定の内容

マニュアル

手動で切り換えます。

5sec

5 秒ごとに自動で切り換わります。

10sec

10 秒ごとに自動で切り換わります。

15sec

15 秒ごとに自動で切り換わります。

1 サムパッドを操作して、スライドショー時間設定にする

(→「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 スライドショーの表示時間設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 表示時間を選ぶ

サムパッドを上下に操作する

サムパッドを上下に操作することにより、次のように切り換わります。

マニュアル



5sec



10sec



15sec

4 表示時間を設定する

サムパッドを押す

視聴制限を設定する

視聴制限設定

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定できます。

視聴制限レベルの目安

レベル 8

すべてのディスクを再生します。

レベル 7 ~ 2

成人向けのディスクの視聴を制限します。子供向けや、一般向けのディスクを再生します。

レベル 1

子供向けディスクのみ再生します。

メモ

- はじめて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベルを設定しても視聴制限は設定できません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面だけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルを設定する

1 サムパッドを操作して、視聴制限設定にする

(→「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 視聴制限の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 暗証番号を入力する

- 数字を入力するとき
 - ①～⑨ ボタンを押す
- カーソルを移動するとき
 - サムパッドを左右に操作する
- 入力した数字を消すとき
 - ◎ボタンを押す



メモ

- 入力した数字は*で表示されます。

4 暗証番号を設定する

カーソルを4桁目に移動して、サムパッドを押す



メモ

- 4桁すべてに数字が入力されていないと、ふたたび番号入力画面に戻ります。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。

5 レベルを選ぶ

サムパッドを左右に操作する
 レベルを大きくするとき：右に操作する
 レベルを小さくするとき：左に操作する

6 レベルを設定する

サムパッドを押す

レベルを変更する

1 サムパッドを操作して、視聴制限設定にする

(⇒「DVD設定メニューの切り換えかた」51ページ)

2 視聴制限の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 暗証番号を入力し、レベルを設定する

「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作でレベルを設定する

暗証番号を忘れたとき

「レベルを変更する」の手順2で、「暗証番号入力」表示中に◎ボタンを10回押す

登録した暗証番号が解除され、入力欄に「-」が表示されます。「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、新しい暗証番号を入力してください。

DivXのカスタム字幕ファイルを表示する

DivX 字幕

DVD、MPEG-4の機能です。

DivXファイルには、字幕が収録されているものがあります。また、DivXファイルに字幕を追加して、ディスクに記録することもできます。ここでは、表示する字幕を設定できます。



設定の内容

オリジナル

あらかじめDivXファイルに収録されている字幕を表示します。

カスタム

DivXファイルを作成したあとに、追加した字幕(カスタム字幕)を表示します。

1 サムパッドを操作して、DivX字幕にする

(⇒「DVD設定メニューの切り換えかた」51ページ)

2 DivX 字幕を切り換える

サムパッドを押す

サムパッドを押すごとに、次のように切り換わります。

オリジナル
↓
カスタム

メモ

- 本機はファイル形式「.srt」のカスタム字幕に対応しています。
- カスタム字幕は、1行あたり42文字、3行まで対応しています。

DivX VOD の登録コードを確認する

DivX VOD

DivX VOD ファイルを再生するとき、その DivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。

DivX VOD とは

- DivX VOD とは、「DivX Video On Demand」の略です。

レジストレーションコードを表示する

1 サムパッドを操作して、DivX VODにする

(→「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 DivX VOD の画面を表示する

サムパッドを押す

3 レジストレーションコード表示を選ぶ

サムパッドを操作して、「レジストレーションコード表示」を選ぶ

4 登録コードを表示する

サムパッドを押す

DivX VOD の登録コードが表示されます。登録コードは 10 桁の英数字です。

ディレジストレーションコードを表示する

1 サムパッドを操作して、DivX VODにする

(→「DVD 設定メニューの切り換えかた」51 ページ)

2 DivX VOD の画面を表示する

サムパッドを押す

3 ディレジストレーションコード表示を選ぶ

サムパッドを操作して、「ディレジストレーションコード表示」を選ぶ

4 登録コードを無効にする

サムパッドを押す

8 桁のディレジストレーションコードが表示され、現在の登録コードが無効になります。

初期設定メニューの切り換えかた

「時計調節」「外部機器設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源を OFF にした状態で操作します。

1 本機の電源を OFF にする

SRC/OFF ボタンを長く押す

2 初期設定メニューを表示する

ロータリーコマンドを長く押す

3 使いたい機能を選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

- CLOCK SET (時計調節)
(⇒「時計を合わせる」59 ページ)
- ↓
- AUX1 (外部機器設定 1)
(⇒「外部機器 (AUX) をソースに設定する」59 ページ)
- ↓
- AUX2 (外部機器設定 2)
(⇒「外部機器 (AUX) をソースに設定する」59 ページ)
- ↓
- MUTE/ATT (ミュート設定)
(⇒「ミュート/アッテネートを切り換える」60 ページ)
- ↓
- V.INPUT (ビデオ入力設定)
(⇒「ビデオ入力の設定を切り換える」61 ページ)
- ↓
- COLOR (イルミネーション設定)
(⇒「ボタンのイルミネーションの色を切り換える」61 ページ)
- ↓

- DIMMER (ディマー)
(⇒「ボタンとディスプレイの明るさを調節する」62 ページ)
- ↓
- REAR-SP
(⇒「リアスピーカー出力を設定する」62 ページ)
- ↓
- PREOUT
(⇒「RCA 出力から出力される信号を選ぶ」62 ページ)
- ↓
- DEMO
(⇒「フィーチャーデモを ON/OFF する」63 ページ)
- ↓
- SCROLL (連続スクロール設定)
(⇒「スクロールの設定を切り換える」63 ページ)
- ↓
- V.OUT (モニター出力設定)
(⇒「モニターの有無を設定する」64 ページ)
- ↓
- DIGITAL OUT (デジタル出力設定)
(⇒「デジタル出力の設定をする」64 ページ)
- ↓
- D.SAMPL (ダウンサンプリング設定)
(⇒「ダウンサンプリング周波数を設定する」65 ページ)

メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、**BAND/** ボタンを押します。初期設定メニューを解除すると、電源が OFF になります。
- REAR-SP (リアスピーカー出力を設定する) を SW に設定時、PREOUT (RCA から出力される信号を選ぶ) が選択できません。

時計を合わせる

CLOCK SET

本機のディスプレイに表示する時計の調節ができます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、CLOCK SETにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 時計調節画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

3 時計を調節する

■ 時または分を選ぶとき

ロータリーコマンドーを押す

■ 時刻を合わせるとき

ロータリーコマンドーを回す

分を調節すると、0 秒からカウントが始まります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND/🔊 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

外部機器 (AUX) をソースに設定する

AUX1/AUX2

本機にポータブル音楽再生機器や VTR などの外部機器を接続して、ソースに設定できます。外部機器の接続には、次の 2 通りがあります。

① 別売の AUX ケーブルを使用する場合 (AUX1)

本体正面の AUX 入力端子 (φ 3.5 ミニジャック) に接続します。この場合、接続した外部機器は AUX1 ソースとして認識されます。

② 別売の RCA ピンケーブルを使用する場合 (AUX2)

接続する外部機器に RCA 出力がある場合、別売の RCA ピンケーブルを使用して、本機の音声入力端子や映像入力端子に接続します。この場合、接続した外部機器は AUX2 ソースとして認識されます。

AUX1 を設定する

📌 設定の内容

AUDIO :

別売の AUX ケーブルを使って、ポータブル音楽再生機器などを接続した場合に設定します。

VIDEO :

別売の AUX ケーブル (例 : CD-VRM200) を使って、ポータブル音楽再生機器 (映像再生が可能なもの) などを接続した場合に設定します。

OFF :

使用しない場合に設定します。

1 ロータリーコマンドーを操作して、AUX1にする

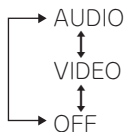
(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 外部機器設定画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

3 外部機器を設定する

ロータリーコマンドーを回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



4 初期設定メニューを解除する

BAND/ ボタンを押す
初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

メモ

- AUX1は、初期設定がAUDIOになっています。AUX1を使用しない場合は、OFFにします。

AUX2 を設定する

1 ロータリーコマンドーを操作して、AUX2にする

(⇒「初期設定メニューの切り換えかた」58ページ)

2 外部機器設定画面を設定する

ロータリーコマンドーを押す
ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。



3 初期設定メニューを解除する

BAND/ ボタンを押す
初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

ミュート／アッテネートを切り換える

MUTE/ATT

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートにするかアッテネートにするかを選べます。

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

設定の内容

MUTE
音量が「0」になります。
ATT - 10 DB
音量を小さく（アッテネート）します。
ATT - 20 DB
音量を小さく（アッテネート）します。
ATT - 20 DBのほうが、アッテネートの効果は大きくなります。

1 ロータリーコマンドーを操作して、MUTE/ATTにする

(⇒「初期設定メニューの切り換えかた」58ページ)

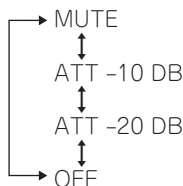
2 ミュート設定画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

3 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



4 初期設定メニューを解除する

BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

ビデオ入力の設定を切り換える

V.INPUT

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を本機の映像入力端子に接続した場合 (→「外部映像機器・モニターの接続」76 ページ)、オンにします。

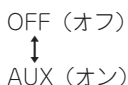
1 ロータリーコマンドーを操作して、V.INPUTにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。



3 初期設定メニューを解除する

BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

メモ

- 外部機器の映像を見るときは、AUX2 を ON にしてください (→「外部機器 (AUX) をソースに設定する」59 ページ)。

ボタンのイルミネーションの色を切り換える

COLOR

ボタンのイルミネーションの色を、青と赤から選ぶことができます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、COLORにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。



3 初期設定メニューを解除する

BAND/ ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

ボタンとディスプレイの明るさを調節する

DIMMER

1 ロータリーコマンドーを操作して、DIMMERにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF (明るくするとき)



ON (暗くするとき)



メモ

- ➡ ボタンを長く押しても、明るさを調節できません。

3 初期設定メニューを解除する

BAND/🔊 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

リアスピーカー出力を設定する

REAR-SP

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選びます。

- ① リアスピーカーを接続するとき：「FUL」に設定します
- ② サブウーファーを接続するとき：「SW」に設定します

1 ロータリーコマンドーを操作して、REAR-SPにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

FUL (リアスピーカーを接続するとき)



SW (サブウーファーを接続するとき)

3 初期設定メニューを解除する

BAND/🔊 ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



メモ

- 本機能で SW を設定した場合は、SUB.W (→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」49ページ) を NOR または REV に設定してください。
- 本機能の設定を切り換えると、SUB.W (→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」49ページ) が OFF になる場合があります。

RCA 出力から出力される信号を選ぶ

PREOUT

本機の RCA 出力端子に外部アンプを接続し、フルレンジスピーカーまたはサブウーファーを使用できます。接続するスピーカーに合わせて、RCA 外部出力端子から出力される信号を選びます。

- ① フルレンジスピーカーを接続するとき：「REA」に設定します
- ② サブウーファーを接続するとき：「SW」に設定します

1 ローターリーコマンドーを操作して、PREOUTにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

REA (フルレンジスピーカーを接続するとき)
↓
SW (サブウーファーを接続するとき)

3 初期設定メニューを解除する

BAND/  ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

メモ

- 本機能で SW を設定した場合は、SUB.W (→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」49 ページ) を NOR または REV に設定してください。
- 本機能の設定を切り換えると、SUB.W (→「サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え」49 ページ) が OFF になる場合があります。

フィーチャーデモを ON / OFF する

DEMO

フィーチャーデモとは

- フィーチャーデモは、本機が電源 OFF のときや、30 秒間何も操作しないときに、各ソースや本機の機能 (ファンクションやエンタテインメントなど) の画面を表示して紹介する機能です。

1 ローターリーコマンドーを操作して、DEMOにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF
↓
ON

3 初期設定メニューを解除する

BAND/  ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

スクロールの設定を切り換える

SCROLL

ディスクのタイトルなどを連続してスクロール表示できます。

メモ

- V.OUT (モニター出力設定) が ON のとき、この機能を設定することができません。

1 ローターリーコマンドーを操作して、SCROLLにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF (1 回スクロール)
↓
ON (連続スクロール)

3 初期設定メニューを解除する

BAND/  ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

モニターの有無を設定する

V.OUT

本機に、別売のモニターを接続した場合、モニター出力設定を ON にします。ON にすると、別売モニターに情報画面や DVD や iPod の映像などが表示できます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、V.OUTにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 モニター出力設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押す

ロータリーコマンダーを押すごとに、次のように切り換わります。




ON
↓
OFF

3 初期設定メニューを解除する

BAND/  ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

メモ

- 音楽データや圧縮オーディオファイル再生時にモニター出力設定を OFF にした場合は、本書で説明している内容と実際の動作内容が異なります。
 - ・  ボタンを押すと、現在再生中の曲または ROOT フォルダのファイルが本体の画面に表示されます。(iPod の場合は、ミュージックのリストのみ表示されます。)
 - ・ リスト表示中に  ボタンまたは  ボタンを押すと、1 つ前のリスト (1 つ上の階層) に戻ります。長く押すと、最上位の階層に戻ります。最上位の階層の場合は、リスト表示を解除します。
 - ・ リストからフォルダーを選んでロータリーコマンダーを長く押すと、フォルダー内の曲を 1 番から順番に再生します。

デジタル出力の設定をする

DIGITAL OUT

本機のデジタル出力を設定できます。

メモ

- 「[LPCM]」に設定することにより、以下のタイプのディスクを再生する場合、音声の出力方法を切り換えることができます。(→「音声の出力方法を切り換える」30 ページ)。
 - * Dual Mono モードで記録された DVD ビデオディスク
 - * 2 カ国語で記録された DVD-VR ディスク
- 本機の光デジタル出力を接続していない場合、この設定をする必要はありません。

設定の内容

STREAM (ストリーム)

ドルビーデジタルや DTS 信号が出力されます。通常はこの設定にしておきます。

LPCM (リニア PCM)

ドルビーデジタルや DTS 信号を LINEAR PCM 信号に変換して出力されます。

1 ローターリーコマンダーを操作して、DIGITAL OUTにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを回す

ロータリーコマンダーを回すごとに、次のように切り換わります。

STREAM
↓
LPCM

3 初期設定メニューを解除する

BAND/  ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

ダウンサンプリング周波数を設定する

D.SAMPL

96 kHz 以上のサンプリング周波数で収録された音声を 48 kHz に変換して、本機の光デジタル出力から出力できます。通常は、ON に設定してください。本機の光デジタル出力を使用しないときは、設定する必要はありません。

1 ローターリーコマンダーを操作して、D.SAMPLにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」58 ページ)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押す

ロータリーコマンダーを押すごとに、次のように切り換わります。

ON
↓
OFF

瞬時に音を消す

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音を消せます。

1 MUTE ボタンを押す

瞬時に音が消えます
もう一度押すと、解除されます。

時計を表示する

本機のディスプレイに時計を表示できます。時計は、本機の電源が ON または OFF のときに表示されます。

1 フィーチャーデモをOFFにする

⇒「フィーチャーデモを ON / OFF する」63 ページ
工場出荷時の設定は ON です。

2 時計を表示する

TI/⊙ ボタンを長く押す
もう一度長く押すと、時計表示が解除されます。

メモ

- 時計を合わせるには (⇒「時計を合わせる」59 ページ)

交通情報を受信する

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源 OFF のときでも、どのソースからでも操作できます。

1 交通情報を受信する

TI/⊙ ボタンを押す
もう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 交通情報の周波数を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す
1629 (kHz) を選ぶとき：▶ ボタンを押す
1620 (kHz) を選ぶとき：◀ ボタンを押す

知っている则便利

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

●接続・取り付け上のご注意

- 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。
- 車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

●コード関係

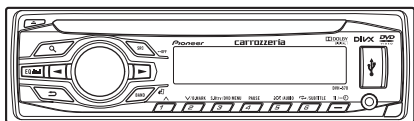
電源コード × 1



接続・取り付け部品を確認する

●本体関係

本体 × 1



トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 mm × 9 mm) × 4



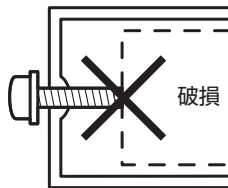
リモコン × 1



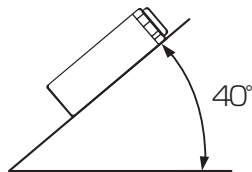
●取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

ケース



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して 40 度以内の角度で取り付けてください。



●取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

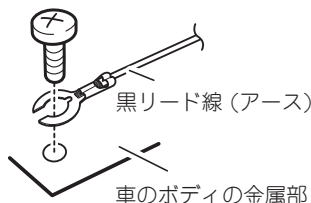
- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、プースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続の前に知ってほしいこと

●接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。

●接続のポイント

ノイズ防止のために

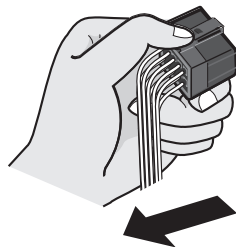
- アンテナコードは、30ピンRGBケーブル、スピーカーコード、および電源リード線などと束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

●コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



電源コードを接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



注: 赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通じたあとの端子に接続してください。

注: 製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

ミュート

パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。)組み合わせた別売製品に黄/黒リード線(セルラーミュートまたはミュート)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。

(12 V DC, 300 mA以内でご使用ください。)

下記車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

●オートアンテナ車の場合:

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。

●ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合:

車側のアンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

黒



黄



赤

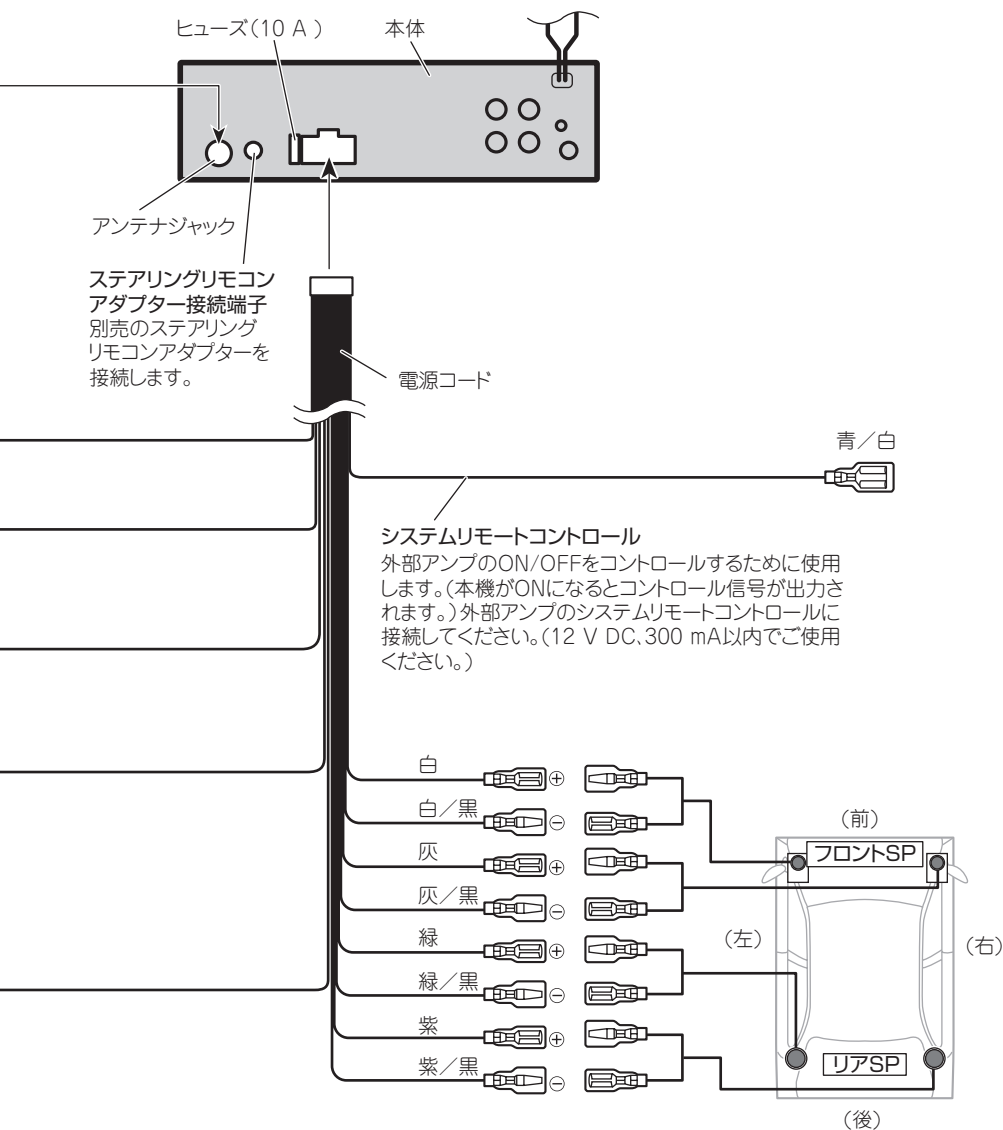


黄/黒



青

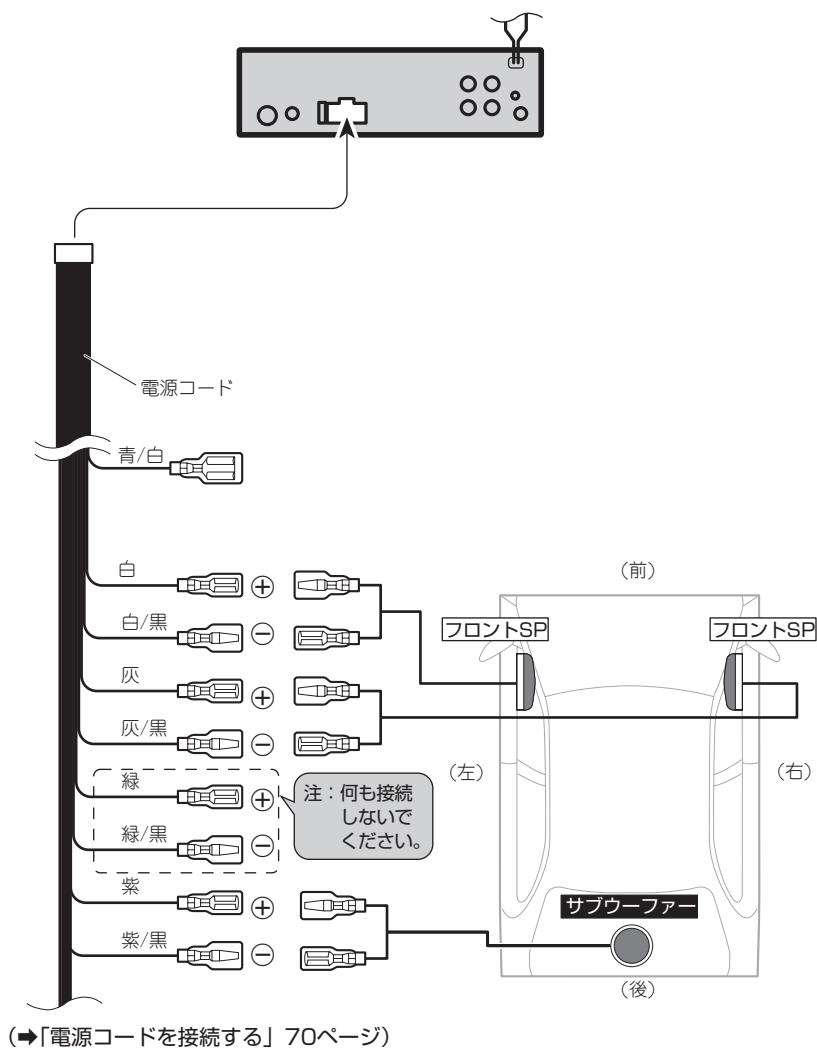




注: スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する ①

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

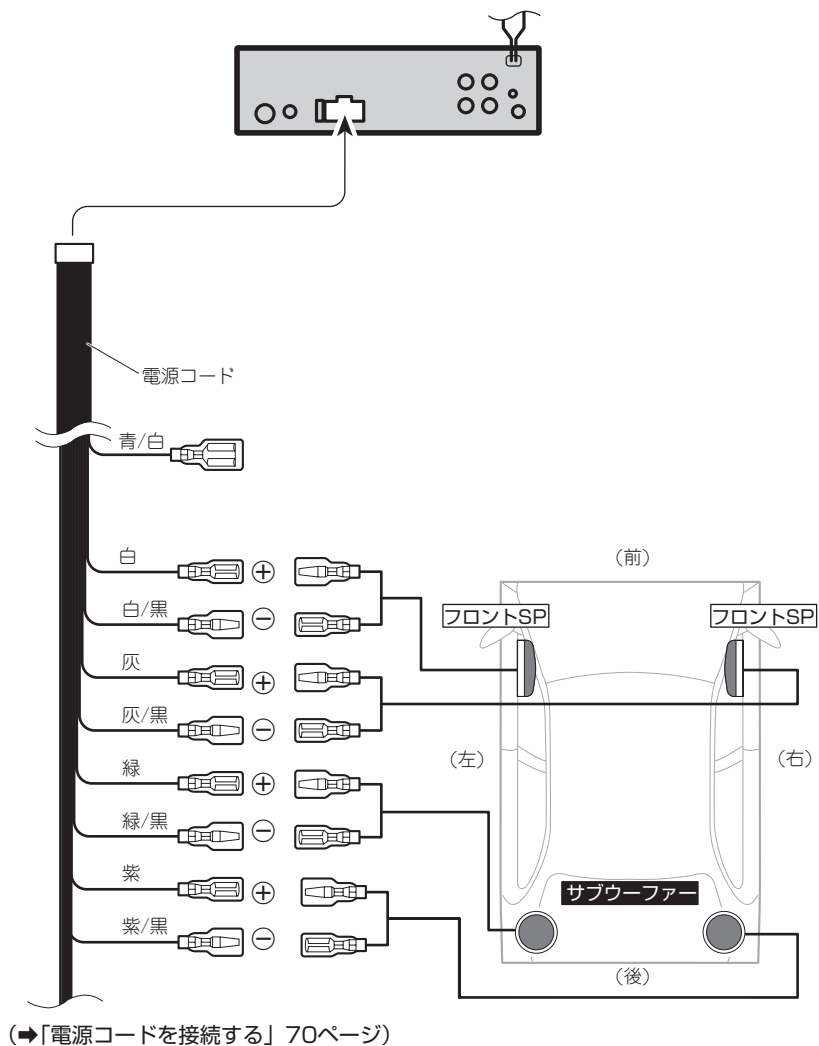


接続・取り付けと動作確認

最大出力 50 W × 1ch/4 Ω

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する ②

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

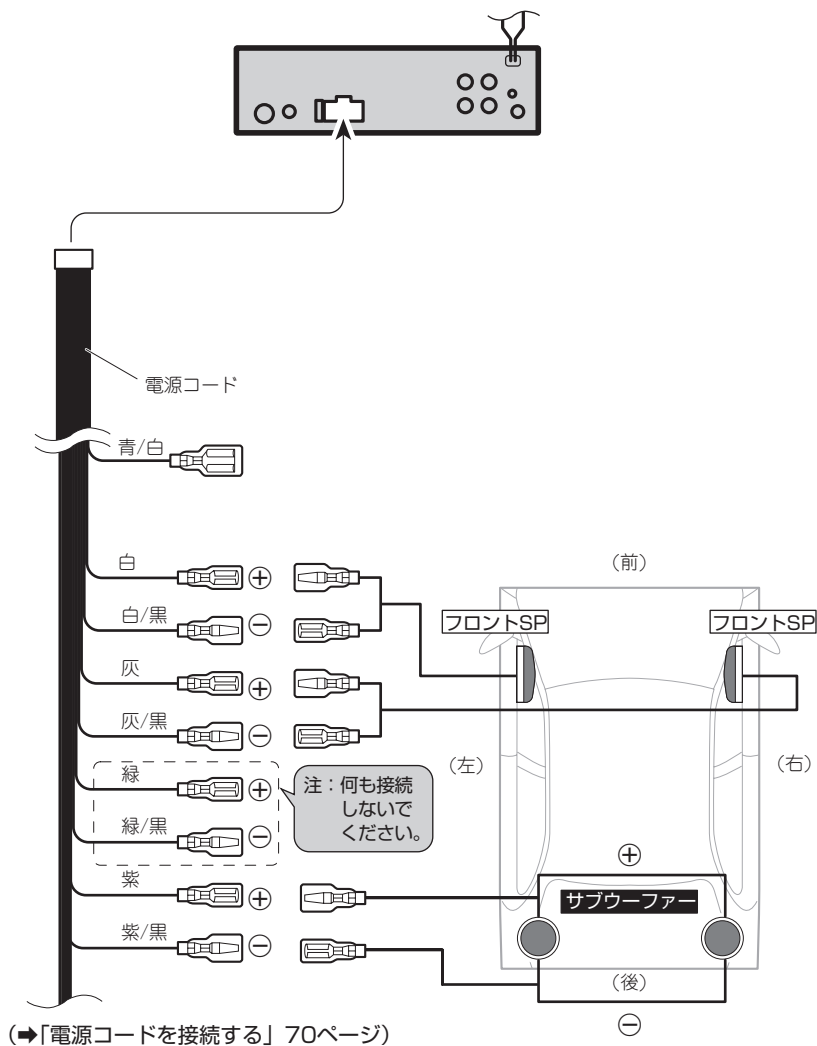


接続・取り付けと動作確認

最大出力 50 W × 2ch/4 Ω

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する ③

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



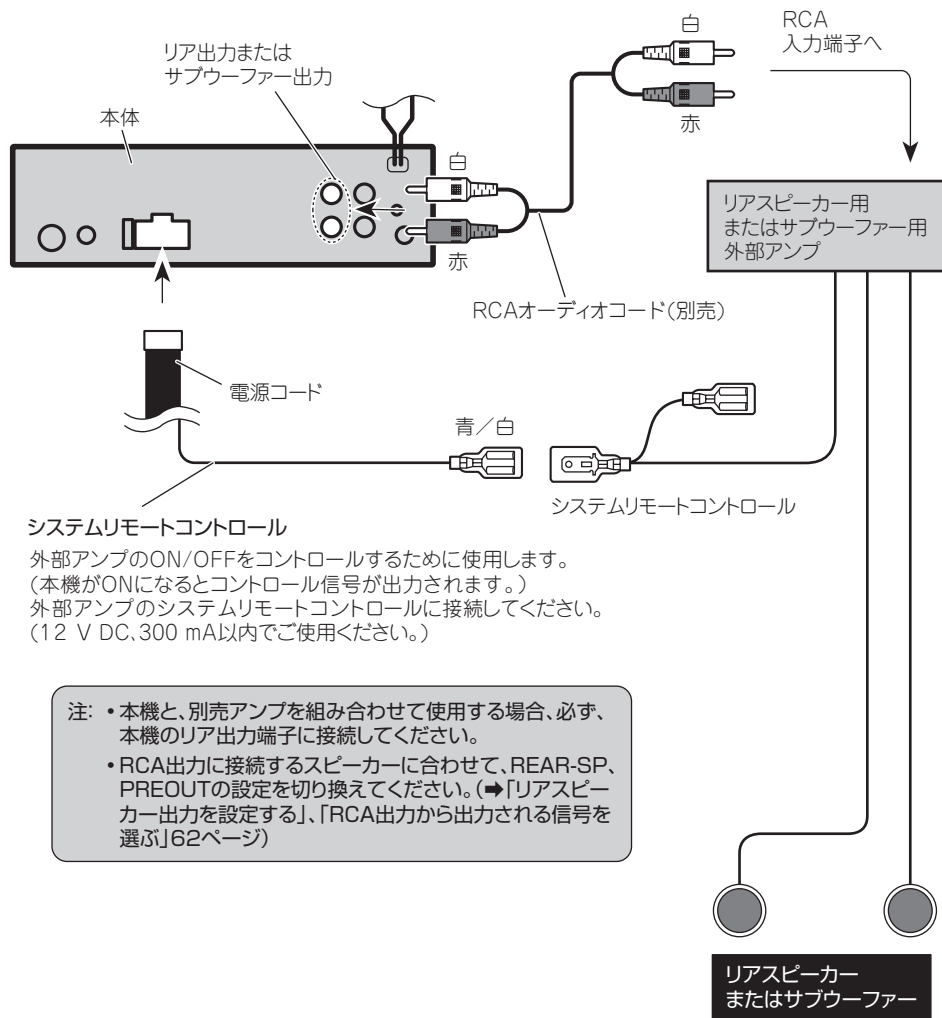
接続・取り付けと動作確認

ここでは、サブウーファー (4 Ω) を並列に接続してサブウーファー (2 Ω) として使用しています。

最大出力 70 W × 1ch/2 Ω

別売アンプを使ってリアスピーカー またはサブウーファーを接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



システムリモートコントロール

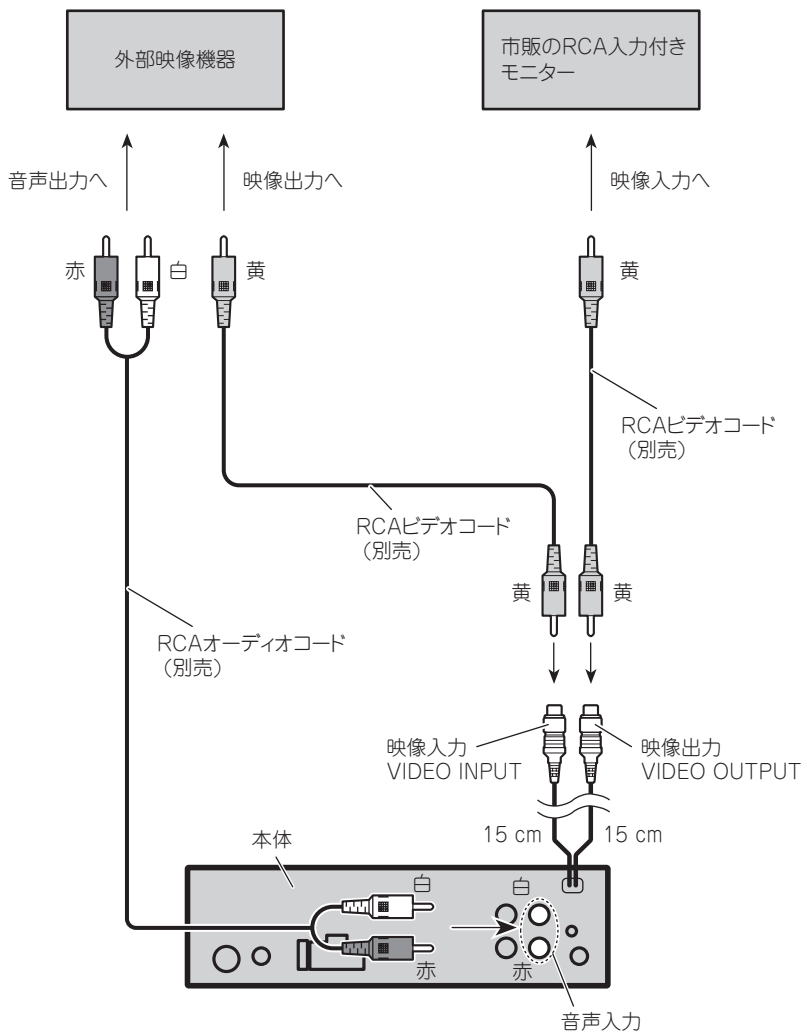
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。
(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。
(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

- 注:
- 本機と、別売アンプを組み合わせて使用する場合、必ず、本機のリア出力端子に接続してください。
 - RCA出力に接続するスピーカーに合わせて、REAR-SP、PREOUTの設定を切り換えてください。(→「リアスピーカー出力を設定する」、「RCA出力から出力される信号を選ぶ」62ページ)

接続・取り付けと動作確認

外部映像機器・モニターの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



接続・取り付けと動作確認

純正ナビシステムなどへの 接続

本機のリア出力またはサブウーファー出力端子を、純正ナビシステム機器などのRCA音声入力に接続して使用できます。

本機の音量を50～60を目安に設定すると、接続された機器側の音量調整がしやすくなります。設定する前に、本機のリア出力またはサブウーファー端子にスピーカーが接続されていないことを確認してください。

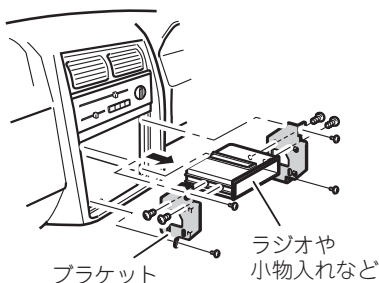
本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）です。

1 車のラジオ、小物入れなどを 取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



📌 ご注意

- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

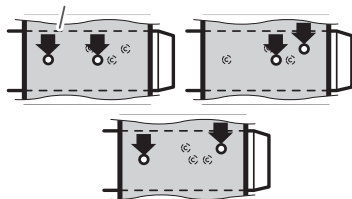
2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

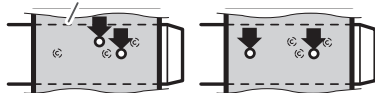
■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



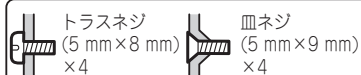
■日産車の場合

日産車ブラケット

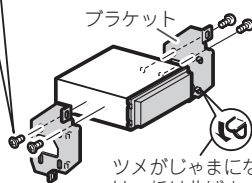


3 ブラケットを付属のネジで 取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。



フロントパネルの取り外しかた／ 取り付けかた

フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。操作方法は（➡「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」12 ページ）。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する



確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

確認後にセットアップメニューが自動で起動しますので、設定を行ってください（➡「初めて本体を使用する際の設定」10 ページ）。

再生できるディスクについて

再生できるディスクの種類

- ・下記マークはディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに付いています。
- ・本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ・**DVD**は DVD フォーマットロイヤルライセンス（株）の商標です。

DVD ビデオ



ビデオ CD




CD








ディスクの操作について

DVD によっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止している場合があります。また、メニュー操作や、再生中に対話式的操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に （禁止マーク）が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

DVD に表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

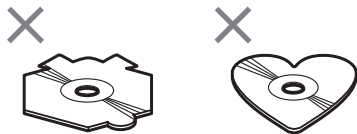
| マーク | 意味 |
|---|--|
|  | 音声の数を表します。 |
|  | 字幕の数を表します。 |
|  | アングルの数を表します。 |
|  | 画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。 |
|  | 再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。 |



メモ

- リージョン番号が異なる DVD ビデオディスクは、再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVD ビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-R / RW ディスクの再生に対応しています。ただし、ファイナライズされていないディスクの再生には対応していません。再生する際は、必ずファイナライズしてください。
- ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-R DL（デュアルレイヤー）ディスクの再生に対応しています。ただし、レイヤージャンプモードには対応していません。

- ファイナライズされた DVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクは、録画・編集ができません。
- ビデオフォーマット (ビデオモード) およびビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-R / RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- DVD-ROM、DVD-RAM ディスクの再生には対応していません。
- 本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用 CD レコーダーまたはパソコンで記録した CD-R / RW ディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。(詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。)
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R / RW、DVD-R / RW ディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R / RW ディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ (CD-DA) 再生時)
- ファイナライズされていない CD-R / RW、DVD-R / RW ディスクには対応していません。
- CD-R / RW、DVD-R / RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-R / RW ディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD 規格) で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD 規格に非対応のため再生できません。ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD 規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

その他 (付録)

本機で再生できるファイルについて

WMA について

WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって、開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

次のページに続く

AAC について

AAC データは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。

本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを、AAC ファイルとして再生します。故障の原因となりますので、.m4a 以外の拡張子の付いた AAC ファイルを再生しないでください。

DivX について

DivX は、Rovi Corporation の子会社である DivX, LLC が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX で圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.com では、DivX メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivX の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified 製品は、DivX のクリエイターによってテストされ、すべてのバージョンの DivX (DivX 6 も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certified の認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles 規格に準拠したポータブルビデオや HD ビデオであることを示しています。

● DivXCertified 製品

● 標準の DivX メディアファイル再生機能が付いた DivX ビデオを再生 (DivX6 以前のバージョンに対応)

本機では、CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW、USB 機器に記録された DivX ファイルを再生できます。

この取扱説明書では、それぞれの DivX ファイルを DVD に合わせて「タイトル」と呼びます。DivX ファイルはディスクに書きこまれた順に再生されますので、ディスクに記録する際はご注意ください。

再生可能な圧縮ファイルについて

WMA ファイル



ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。**

- ・ 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。

8 kHz ~ 48 kHz

- ・ 一般的に WMA ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録された WMA ファイルの使用をおすすめします。

5 kbps ~ 320 kbps(CBR)、VBR

- ・ デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルが DRM で保護されている場合、本機では再生できません。
- ・ この製品は、下記の形式には対応していません。

Windows Media Audio Professional(5.1ch)
Windows Media Audio Lossless(可逆圧縮)
Windows Media Audio Voice

MP3 ファイル

ご注意

- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
 - MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。**
- ID3 Tag のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 Tag の Ver.1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver.2.X が優先されます。以下のバージョンの ID3 Tag に対応しています。

1.0、1.1、2.2、2.3

- 再生可能な MP3 ファイルのサンプリング周波数は以下のとおりです。

8 kHz ~ 48 kHz (32 kHz、44.1 kHz、48 kHz のみエンファシス対応)

- 一般的に MP3 ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の MP3 ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、128kbps 以上のビットレートで記録された MP3 ファイルの使用をおすすめします。

8 kbps ~ 320 kbps (CBR)、VBR

AAC ファイル

ご注意

- AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けしないでください。**
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。
8 kHz ~ 48 kHz
- 一般的に AAC ファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録された AAC ファイルの使用をおすすめします。
8 kbps ~ 320 kbps
- iTunes Store で購入された楽曲 (.m4p) は、ディスクや USB 機器に記録して再生することはできません。
- 本機は、下記の形式には対応していません。
Apple Lossless・エンコーダ

DivX ファイル

ご注意

- DivX ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.avi または .divx) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.avi または .divx) が付いているファイルを DivX ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、DivX ファイル以外には拡張子 (.avi または .divx) を付けしないでください。**

- 本機は、DivX 規格に準拠した、DivX ビデオフォーマット (コンテンツ) を再生できます。また、DivX Ultra、DivX Plus HD フォーマットには対応していません。
- 映像データが収録されていないファイルは、DivX ファイルと認識できません。
- DivX ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- DivX のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX ファイルの再生は保証していません。
- DivX VOD ファイルのうち、DRM レンタルファイルを再生している場合は、再生選択後から実際に再生が始まるまでの間、操作できません。
- 本機では、最大で 1 590 分 43 秒の DivX ファイルの表示に対応しています。

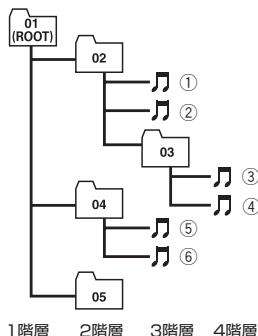
次のページに続く

圧縮ファイルについて

- 4 GB を超えるファイルの場合、ファイルの途中までしか再生しません。
- DivX VOD ファイルを再生する場合、その DivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。登録コードは（→「DivX VOD の登録コードを確認する」57 ページ）で確認してください。
- DivX について詳しくは、<http://www.divx.com/> を参照してください。

フォルダーと圧縮ファイルについて

- WMA / MP3 / AAC ファイルを収録した CD-R / RW / ROM のイメージは下図のようになります。



JPEG ファイル (CD-R/RW、USB のみ対応)

📌 ご注意

- JPEG ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.jpg, .jpeg, .jpe または .jif) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.jpg, .jpeg, .jpe または .jif) が付いているファイルを JPEG ファイルとして再生します。故障の原因となりますので、JPEG ファイル以外には拡張子 (.jpg, .jpeg, .jpe または .jif) を付けないでください。
- 解像度が 8 192 × 7 680 までのベースライン JPEG と、EXIF2.1 に対応しています (EXIF 形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です)。
 - パソコンで加工された EXIF ファイルは、再生できないことがあります。
 - プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。

MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4 ファイル

- 再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

- WMA / MP3 / AAC ファイルが記録された CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW、USB 機器の再生に対応しています。CD-R / RW / ROM は、ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。また DVD-R / RW、USB 機器は、UDF 1.02 および ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数も 32 文字です。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- 曲間（トラック間）にブランクがない CD を、WMA / MP3 / AAC ファイルとして DVD-R / RW、CD-R / RW / ROM に記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。
- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ディスクに、WMA / MP3 / AAC ファイル、DivX ファイル、JPEG ファイル、音楽データ（CD-DA）が混在しているときは、これらを切り換えて再生できます（▶「DVD のふだんの操作」16 ページ）。再生は一番先頭のファイル／データから始まります。
- WMA / MP3 / AAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません。（フォルダー番号を表示せず、スキップします。）
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 再生できるフォルダー数の合計は、最大 700 です。
- 再生できるファイル数の合計は、最大 3 500（DVD-R / RW）、最大 999（CD-R / RW）です。

対応している圧縮ファイルについて

- USB 機器に収録された WMA / MP3 / AAC ファイルを再生できます。
- 再生できるフォルダー数の合計は、6 000（DivX、MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4 は 700）フォルダーです。
- 再生できるファイル数の合計は、最大 65 535 ファイルです。
- USB 機器のフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数も 32 文字です。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- m3u のプレイリストには対応していません。

USB 機器について

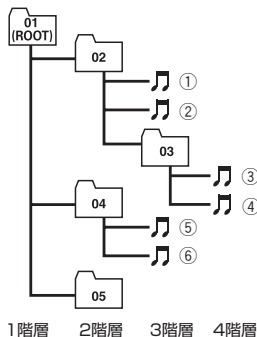
使用できる USB 機器について

ご注意

- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作った USB メモリーは使用できません。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USB 機器を本機に接続する際は、別売のケーブル（例：CD-U51E）を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり、危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

USB メモリー内のフォルダーについて

- USB メモリー内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



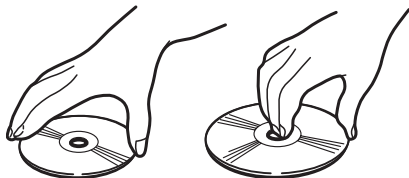
- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。

次のページに続く

使用上の注意

取り扱い上のご注意

- ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないようにしてください。



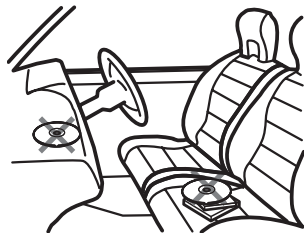
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。



- ディスクには、市販のラベルなどを貼り付けしないでください。
 - ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。

保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

- 圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USB メモリーにコピーされた順番と同じです。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 - ① パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 - ② それらのファイルをフォルダーに入れる。
 - ③ フォルダー単位で USB メモリーにコピーする。

ただし、パソコンの環境によってはこの方法で指定できない場合もあります。

iPod について



ご注意

- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。

iPod の設定について

- 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ 設定を自動的に「Flat」に変更します。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- iPod を本機に接続している場合、iPod のリピートは「オフ」に設定できません。また、iPod のリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

言語コード

言語名(言語コード)入カコード

アファル語(aa)0101/ アプハズ語(ab)0102/ アヴェスター語(ae)0105/ アフリカーンス語(af)0106/ アカ
ン語(ak)0111/ アムハラ語(am)0113/ アラゴン語(an)0114/ アラビア語(ar)0118/ アッサム語(as)0119/
アヴァール語(av)0122/ アイマラ語(ay)0125/ アゼルバイジャン語(az)0126/ バシキール語(ba)0201/ ベ
ラルーン語(be)0205/ ブルガリア語(bg)0207/ ビハール語(bh)0208/ ビスラマ語(bi)0209/ バンバラ語
(bm)0213/ ベンガル語(bn)0214/ チベット語(bo)0215/ ブルトン語(br)0218/ ボスニア語(bs)0219/ カタ
ロニア語、バレンシア語(ca)0301/ チェチェン語(ce)0305/ チャモロ語(ch)0308/ コルシカ語(co)0315/
クリー語(cr)0318/ チェコ語(cs)0319/ 古代教会スラブ語(cu)0321/ チュバシ語(cv)0322/ ウェールズ
語(cy)0325/ デンマーク語(da)0401/ ドイツ語(de)0405/ ディベヒ語、モルジブ語(dv)0422/ ソンカ語
(dz)0426/ エウエ語(ee)0505/ ギリシャ語(el)0512/ 英語(en)0514/ エスペラント語(eo)0515/ スペイン
語、キャステリヤ語(es)0519/ エストニア語(et)0520/ バスク語(eu)0521/ ペルシア語(fa)0601/ フラ語
(ff)0606/ フィンランド語(fi)0609/ フィジー語(fj)0610/ フェロー語(fo)0615/ フランス語(fr)0618/ フ
リジア語(fy)0625/ アイルランド語(ga)0701/ ゲール語、スコットランドゲール語(gd)0704/ ガリシア語
(gl)0712/ ガアラニ語(gn)0714/ グジャラート語(gu)0721/ マン島語(gv)0722/ ハウサ語(ha)0801/ ヘ
ブライ語(he)0805/ ヒンディー語(hi)0809/ ヒリ・モトゥ語(ho)0815/ クロアチア語(hr)0818/ ハイチ語、
ハイチクレオール語(ht)0820/ ハンガリー語(hu)0821/ アルメニア語(hy)0825/ ヘレロ語(hz)0826/ イン
ターリングア、国際語(ia)0901/ インドネシア語(id)0904/ インターリング、オクツイデンタル(ie)0905/ イ
ボ語(ig)0907/ 四川彝語(シセンイ語)、ロロ語(ii)0909/ イヌピアック語(ik)0911/ イド語(io)0915/ ア
イスランド語(is)0919/ イタリア語(it)0920/ イヌクティトゥット語(iu)0921/ 日本語(ja)1001/ ジャワ語
(jv)1022/ グルジア語(ka)1101/ コンゴ語(kg)1107/ キクユ語(ki)1109/ クワニヤマ語(kj)1110/ カザフ語
(kk)1111/ グリーンランド語(kl)1112/ クメール語、カンボジア語(km)1113/ カンナダ語(kn)1114/ 韓国語、
朝鮮語(ko)1115/ カナリ語(kr)1118/ カシミア語(ks)1119/ クルド語(ku)1121/ コミ語(kv)1122/ コー
ンウォール語(kw)1123/ キルギス語(ky)1125/ ラテン語(la)1201/ ルクセンブルグ語(lb)1202/ ガンダ語
(lg)1207/ リンブルフ語、リンブルグ語(li)1209/ リンガラ語(ln)1214/ ラーオ語、ラオス語(lo)1215/ リト
アニア語(lt)1220/ ルバ語、ルバカタンガ語(lu)1221/ ラトビア語(lv)1222/ マダガスカル語(mg)1307/ マー
シャル語(mh)1308/ マオリ語(mi)1309/ マケドニア語(mk)1311/ マラヤーラム語(ml)1312/ モンゴル語
(mn)1314/ マラティー語(mr)1318/ マレー語(ms)1319/ マルタ語(mt)1320/ ビルマ語(my)1325/ ナウル
語(na)1401/ ブークモール・ノルウェー語(nb)1402/ 北ンデベレ語(nd)1404/ ネパール語(ne)1405
ンドンガ語(ng)1407/ オランダ語、フランドル語(nl)1412/ ニーノシュク・ノルウェー語(nn)1414/ ノ
ルウェー語(no)1415/ 南ンデベレ語(nr)1418/ ナバホ語(nv)1422/ チェワ語、ニャンジャ語(ny)1425/
オック語、プロバンス語(oc)1503/ オジブワ語(oj)1510/ オロモ語(om)1513/ オリヤー語(or)1518/ オ
セツト語(os)1519/ パンジャブ語(pa)1601/ パーリ語(pi)1609/ ポーランド語(pl)1612/ パシュトー語
(ps)1619/ ポルトガル語(pt)1620/ ケチュア語(qu)1721/ ロマンシュ語(rm)1813/ ルンディ語(rn)1814/
ルーマニア語、モルダビア語、モルドバ語(ro)1815/ ロシア語(ru)1821/ キニヤルワンダ語(rw)1823/ サ
ンクリット語(sa)1901/ サルデーニャ語(sc)1903/ シンド語(sd)1904/ 北サーミ語(se)1905/ サンゴ
語(sg)1907/ シンハラ語(si)1909/ スロバキア語(sk)1911/ スロベニア語(sl)1912/ サモア語(sm)1913/
ショナ語(sn)1914/ ソマリ語(so)1915/ アルバニア語(sq)1917/ セルビア語(sr)1918/ シスワティ語
(ss)1919/ 南ソト語(st)1920/ スンダ語(su)1921/ スウェーデン語(sv)1922/ スワヒリ語(sw)1923/ タミ
ル語(ta)2001/ テルグ語(te)2005/ タジク語(tg)2007/ タイ語(th)2008/ ティグリニャ語(ti)2009/ トル
クメン語(tk)2011/ タガログ語(tl)2012/ ツワナ語(tn)2014/ トンガ語(to)2015/ トルコ語(tr)2018/ ツォ
ンガ語(ts)2019/ タタール語(tt)2020/ トウイ語(tw)2023/ タヒチ語(ty)2025/ ウィグル語(ug)2107/ ウ
ククリナ語(uk)2111/ ウルドゥー語(ur)2118/ ウズベク語(uz)2126/ ウェンダ語(ve)2205/ ベトナム語
(vi)2209/ ボラビュク語(vo)2215/ ワロン語(wa)2301/ ウォロフ語(wo)2315/ コーサ語(xh)2408/ イディ
ッシュ語(yi)2509/ ヨルバ語(yo)2515/ 壮語(チワン語)(za)2601/ 中国語(zh)2608/ ズールー語(zu)2621

*言語表記はISO639:1988 (E/F) に準拠 (1999年9月現在)

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも直らないときは

(⇒「保証書とアフターサービス」94ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

●共通項目

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|--|--|
| 電源をOFFにしても映像が出ている。イルミネーションが意図せずに表示される。時計が表示できない。 | フィーチャーデモがONになっている。 | フィーチャーデモを解除してください(⇒「デモモードについて」11ページ、「フィーチャーデモをON/OFFする」63ページ) |
| 電源が入らない。動作しない。 | 各リード線やコネクタが正しく接続されていない。 ヒューズが切れている。 | 正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(⇒「電源コードを接続する」70ページ) 切れたヒューズと同じ容量のものとの交換してください。(⇒「電源コードを接続する」70ページ) |
| リモコンで操作できない。操作に合った正しい動作をしない。 | 電池が弱っている。 ディスクによっては、禁止している操作があります。 | 新しい電池に交換してください。(⇒「リモコンの準備」11ページ) 別のディスクで確認してください。 |
| ディスクを再生できない。 | ディスクが汚れている。 本機で再生できない種類のディスクが入っている。 | 汚れをふき取ってください。(⇒「使用上の注意」86ページ) ディスクを確認してください。 |
| 音が出ない。音が小さい。 | 音量を下げている。 前後の音量バランスの調節が適切でない。 接続が間違っている。 | 音量を上げてください。(⇒「基本的な操作」16ページ) 正しく調節してください。(⇒「前後左右の音量バランスを調節する」46ページ) 正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(⇒「電源コードを接続する」70ページ) |
| 前または後ろのスピーカーから音が出ない。 | 前後の音量バランスの調節が適切でない。 | 正しく調節してください。(⇒「前後左右の音量バランスを調節する」46ページ) |
| 左または右のスピーカーから音が出ない。 | 左右の音量バランスの調節が適切でない。 | 正しく調節してください。(⇒「前後左右の音量バランスを調節する」46ページ) |
|  (禁止マーク) が画面に出て操作できない。 | ディスクが禁止している操作です。 | この操作はできません。 |
| | ディスクの構成上、対応できない操作をしている。 | この操作はできません。 |
| 画面が止まり、操作を受け付けない。 | ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。 | リモコンの  ボタンを押してからもう一度、再生してください。 |
| 音や映像が飛ぶ。 | 本機がしっかり固定されていない。 | 本機をしっかりと固定してください。 |
| 画面がのびる。アスペクトが合わない。 | モニターに対しての設定が正しくない。 | ご使用のモニターに合った設定にしてください。 |
| エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。 | 本機がディスクの有無を確認しています。 | 正常な動作です。 |

●DVD : DVD

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------------------------------|--|--|
| ディスクを再生できない。 | PAL 方式のディスクを挿入している。 | NTSC 方式のディスクに交換してください。 |
| | 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 | リージョン番号「2」を含む DVD に交換してください。 |
| 視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。 | 視聴制限がかかっている。 | 視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 (⇒「視聴制限を設定する」55 ページ) |
| 視聴制限を解除できない。 | 暗証番号が間違っている。 | 正しい暗証番号を入力してください。 (⇒「視聴制限を設定する」55 ページ) |
| | 暗証番号を忘れてしまった。 | ◎ ボタンを 10 回押して、暗証番号を解除してください。 (⇒「視聴制限を設定する」55 ページ) |
| 音声（または字幕）言語が切り換えられない。 | ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。 | ディスクのメニューで切り換えてください。 |
| 字幕が出ない。 | 字幕が収録されていない DVD を再生している。 | 字幕が収録されていない DVD では、字幕を表示できません。 |
| | ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。 | ディスクのメニューで切り換えてください。 |
| 音声（または字幕）が、DVD の設定で選んだ言語に切り換えられない。 | DVD の設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。 | 選んだ言語が収録されている DVD に交換してください。 |
| アングルを切り換えて見ることができない。 | 複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。 | 複数のアングルが収録されていない DVD では、切り換えできません。 |
| | 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。 | 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。 |
| ディスクの再生中に映像が乱れる。映像が暗い。 | ディスクコピー禁止信号が入っている（ディスクによって入っている場合があります）。 | 本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。 |

●DVD : ビデオ CD

| 症状 | 原因 | 処置 |
|----------------------|------------------------------|------------------------------------|
| PBC のメニュー画面を呼び出せない。 | PBC 機能の付いていないビデオ CD を再生している。 | PBC 機能の付いていないビデオ CD では操作できません。 |
| リピート再生、トラックサーチができない。 | PBC 機能付きのビデオ CD を再生している。 | PBC 機能付きビデオ CD を再生しているときは、操作できません。 |

●DVD : CD、WMA / MP3 / AAC

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---------------------|--|
| CD 再生中、大きな雑音が出る。CD の再生が途中で止まる。CD を再生できない。 | CD に大きなキズやそりがある。 | ほかの CD に交換してください。良くなれば、CD の不良です。 |
| | CD が極端に汚れている。 | CD の汚れをふき取ってください。 (⇒「使用上の注意」86 ページ) |
| | CD にくもりや水滴が付いている。 | CD のくもりや水滴をふき取ってください。 (⇒「使用上の注意」86 ページ) |
| | CD の裏表を逆にしてセットしている。 | CD のレーベル面を上にしてセットしてください。 (⇒「DVD のふだんの操作」16 ページ) |

●ラジオ

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------------------|------------------------|---|
| ラジオの受信中、「ジーザー、ザーザー」という雑音が多い。 | 放送局の周波数が合っていない。 | 周波数を正しく合わせてください。 (⇒「ラジオのふだんの操作」18ページ) |
| | 放送局の電波が弱い。 | ほかの放送局を選局してみてください。 (⇒「ラジオのふだんの操作」18ページ) |
| | 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 | 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。 |
| 自動選局できない。 | 放送局の電波が弱い。 | 手動で選局してください。 (⇒「ラジオのふだんの操作」18ページ) |
| FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。 | アンテナコントロールが接続されていない。 | アンテナコントロールを正しく接続してください。(⇒「電源コードを接続する」70ページ) |
| | 車のアンテナが伸びていない。 | アンテナを十分に伸ばしてください。 |

こんなメッセージが表示されたら

●DVDのエラーメッセージ

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|-----------------------------------|--|---|
| 「ERROR-02-XX」 | ディスクが汚れている。 | ディスクの汚れをふき取ってください。(⇒「使用上の注意」86ページ) |
| | ディスクにキズやひびがある。 ディスクに記録されたデータを読み取ることができない。 | ディスクを交換してください。 |
| | ディスクの裏表を逆にセットしている。 | ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。 |
| 「HEAT」 「温度保護回路作動中」 | 本機の内部温度に異常がある。 | 本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。 |
| 「WRITE FAIL」 「データ保存エラー」 | 視聴回数制限つきの DivX ファイル再生時に、ファイル情報を書き込めなかった。 | 再生を停止するか、他のファイルを選択してください。 |
| 「NON-PLAY」 「再生できない解像度です」 | 高解像度の DivX ファイルが収録されたディスクを挿入している。 | 本機では、DivX HD ファイルは再生できません。本機で再生できるファイルが収録されたディスクを挿入してください。 |
| 「NON-PLAY」 「再生できないディスクです」 | 本機では再生できないディスク (DVD AUDIO など) を使用している。 | 本機で再生できるディスクに交換してください。 |
| 「REGION ERR」 「リージョンコードが違います」 | リージョン番号が異なるディスクを使用している。 | リージョン番号「2」を含む DVD に交換してください。 |
| 「PROTECT」 「保護されたディスクです」 | ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権管理 (DRM) で保護されている。 | デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないファイルを記録したディスクに交換してください。 |
| 「SKIPPED」 「ファイルをスキップしました」 | デジタル著作権管理 (DRM) で保護された WMA ファイルを再生した。 | デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。 |
| 「ERROR」 「この DivX ファイルは認証できません」 | DivX VOD ファイルの認証ができていない。 | DivX VOD ファイルをダウンロードする前に、ファイルの配信元へ登録コードの認証を行ってください。(⇒「DivX VOD の登録コードを確認する」57ページ) |
| 「NON-PLAY」 「再生できないファイルです」 | ファイルのデータに問題がある。 | 本機で再生できるファイルに切り換えてください。 |
| 「NON-PLAY」 「高フレームレートは再生できません」 | DivX ファイルのフレームレートが本機で対応していない。 | 本機で再生できるファイルに切り換えてください。 |
| 「NO AUDIO」 「再生できない音声です」 | ファイルタイプが本機で対応していない。 | 本機で再生できるファイルに切り換えてください。 |

次のページに続く

●USBのエラー表示

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|------------------------------------|---|--|
| 「CHECK USB」 「USB 端子をチェックしてください」 | USB コネクタまたは USB ケーブルがショートした。 | USB コネクタ／USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。 |
| | 規定 (⇒「おもな仕様」98 ページ) 以上の電流を消費する USB 機器を接続した。 | 接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。 次に、対応する USB 機器を接続してください。 |
| 「N/A USB」 「再生できないデバイスです」 | 接続された USB 機器が本機に対応していない。 | USB Mass Storage Class 対応の USB 対応する機器を接続してください。 |
| | 接続された USB 機器のフォーマットが、FAT32 か FAT16 ではない。 | フォーマットが、FAT32 か FAT16 の USB 機器を接続してください。 |
| 「NON-PLAY」 「再生できないファイルです」 | 何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。 | 対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存された USB 機器を接続してください。 |
| | セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続した。 | USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。 |
| | 本機で再生できない形式のファイルを選んだ。 | 再生できるファイルを選んでください。 |
| 「PROTECT」 「保護されたファイルです」 | USB 機器内のすべてのファイルがデジタル著作権管理 (DRM) で保護されている。 | デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。 |
| 「SKIPPED」 「ファイルをスキップしました」 | デジタル著作権管理 (DRM) で保護された WMA ファイルを再生した。 | デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。 |
| 「ERROR-02-9X/-DX」 | 正常に通信できない。 | 以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースを USB に切り換えてください。 ● 車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にする。 ● 接続した USB 機器を一度外してから接続する。 ● 別のソースに切り換える。 |
| 「ERROR」 「この DivX ファイルは認証できません」 | DivX VOD ファイルの認証ができない。 | DivX VOD ファイルをダウンロードする前に、ファイルの配信元へ登録コードの認証を行ってください。(⇒「DivX VOD の登録コードを確認する」57 ページ) |
| 「NON-PLAY」 「再生できないファイルです」 | ファイルのデータに問題がある。 | 本機で再生できるファイルに切り換えてください。 |
| 「NON-PLAY」 「高フレームレートは再生できません」 | DivX ファイルのフレームレートが本機で対応していない。 | 本機で再生できるファイルに切り換えてください。 |
| 「NO AUDIO」 「再生できない音声です」 | ファイルタイプが本機で対応していない。 | 本機で再生できるファイルに切り換えてください。 |

● iPodのエラー表示

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|-----------------------------|----------------------|---|
| 「ERROR-02-6X/-9X/-DX」 | 正常に通信できない。 | コネクタを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。 |
| | iPodに問題が発生した。 | iPodをリセットしてください。 |
| 「ERROR-02-67」 | iPodソフトウェアのバージョンが古い。 | iPodソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 |
| 「STOP」 | iPodに曲が入っていない。 | iPodに曲を転送してください。 |
| | 選んだプレイリストに曲が入っていない。 | 曲が入っているプレイリストを選んでください。 |
| 「N/A USB」 「再生できないデバイスです」 | 接続したiPodが本機に対応していない。 | 本機に対応しているiPodを接続してください (➡「本機の特徴」8ページ)。 |

●保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

●保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●著作権について

本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

●WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ

<http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- ・ 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

●iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

● iPod & iPhone

iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

● DOLBY



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

● DivX



DivX、DivX Certified[®]、および関連するロゴは、Rovi Corporation およびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは 4 : 3 ですが、ワイドモニターは 16 : 9 の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりできます。

ダイナミックレンジコントロール

ドルビーデジタルには音の強弱の幅を圧縮する機能があります。この機能がダイナミックレンジコントロールです。ダイナミックレンジの広い音声を小さな音量で聞く場合でも、良好な聴感が得られるようにコントロールします。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大 5.1 チャンネルの独立したサラウンドオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-R などに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きいほうが良い音となります (MP3 と ATRAC3 のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません)。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオ CD (バージョン 2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

DVD には、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を手動で選ぶことができます。

マルチ音声

DVD ビデオや DivX の中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVD や DivX では、音声を最大 8 言語 (8 ストリーム) まで記録することができます。その中から好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVD や DivX では、1枚のディスク (1つのファイル) に複数の字幕を収録しているものがあります。DVD では最大 32 言語まで、DivX では最大 8 言語まで記録でき、その中から好みの言語を選ぶことができます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョン番号) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です (本体底面に表記されています)。

リニア PCM (LPCM)

音楽 CD に用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽 CD では、44.1 kHz / 16 bit で記録されているのに対し、DVD では、48kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bit で記録されているため、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の 1 つです。この数が大きいほど、音質が良くなります。ただし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズも大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

DivX

DivX は、Rovi Corporation の子会社である DivX, LLC が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルは、高音質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX で圧縮するファイルには、メニューや字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。

DivX.com では、DivX メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアファイルをダウンロードして DivX の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified

DivX Certified 製品は、DivX,LLC のクリエイターによって、対応したバージョンの DivX (DivX 6 も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certified の認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles 規格に準拠したポータブルビデオや HD ビデオであることを示します。

DTS

「Digital Theater Systems」の略です。DTS は、サラウンドシステムで、最大 6 チャンネルの独立したサラウンドオーディオを提供します。

ID3 Tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROM のファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル 1

ファイル名は、8.3 形式 (名前は半角英大文字と半角数字、“_”で 8 文字以下、拡張子は 3 文字) で、各フォルダーの階層は 8 つ以下

レベル 2

ファイル名は、最大 31 文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は 8 つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で 64 文字

Romeo :

ファイル名は、最大で 128 文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮できます。

MPEG

「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムベグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVD は、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

VBR (ブイビーアール)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的には CBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VR モード

「Video Recording (ビデオレコーディング)」の略です。DVD-RW の基本記録方式で、録画または消去を繰り返すことができます。また、部分消去などの編集もできます。

WMA

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

おもな仕様

●共通部

| | |
|---------|--|
| 使用電源： | 14.4 V DC (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能) |
| アース方式： | マイナスアース方式 |
| 最大消費電流： | 10.0 A |
| 外形寸法 | (取付寸法) : 178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm (ノーズ寸法) : 170 (W) mm × 46 (H) mm × 16 (D) mm |
| 質量： | 1.2 kg (コード含まず) |

●アンプ / オーディオ部

| | |
|---------------|--|
| 最大出力： | 50 W × 4 |
| 定格出力： | 22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD, 4 ohm LOAD, 4 Channels Driven) |
| 負荷インピーダンス： | 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能) |
| プリアウト最大出力レベル： | 2.0 V |
| インピーダンス： | 1 k Ω |
| トーンコントロール | (バス) 周波数：100 Hz ゲイン：± 12 dB (ミッド) 周波数：1 kHz ゲイン：± 12 dB (トレブル) 周波数：10 kHz ゲイン：± 12 dB |

サブウーファアアウトプット

周波数：50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz
スロープ：-18 dB/oct
調整幅：-24 dB ~ +6 dB
位相：NORMAL / REVERSE

●DVD プレーヤー部

| | |
|---------------------|---|
| 形式： | DVD ビデオ、DVD-VR、DivX、MPEG、ビデオ CD、CD、WMA、MP3、AAC、JPEG |
| リージョン番号： | 2 |
| 使用ディスク： | DVD ビデオ、ビデオ CD、CD、dts CD、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RDL、DVD-RW |
| S/N 比： | 97 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク) 94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク) : CD |
| チャンネル数： | 2 (ステレオ) |
| DivX デコーディングフォーマット： | Home Theater Ver. 3、4、5.2 (.avi .divx) |
| MPEG デコーディングフォーマット： | MPEG1、2、4 |
| WMA デコーディングフォーマット： | Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12 (2 ch audio) (Windows Media Player) |
| MP3 デコーディングフォーマット： | MPEG-1&2 AUDIO LAYER-3 |
| AAC デコーディングフォーマット： | MPEG-4 AAC (Ver. 9.0.3 以前の iTunes でエンコードされたもののみ) |

●USB 部

| | |
|---------------------|--|
| USB 規格： | USB 2.0 Full Speed |
| 最大供給電流： | 1 A |
| USB クラス： | マストレージクラス |
| ファイルシステム： | FAT16、FAT32 |
| MPEG デコーディングフォーマット： | MPEG1、2、4 |
| DivX デコーディングフォーマット： | Home Theater Ver. 3、Ver. 4、Ver. 5.2、Ver. 6：avi divx (2 ch audio) (Windows Media Player) |
| MP3 デコーディングフォーマット： | MPEG-1&2 AUDIO LAYER-3 |
| WMA デコーディングフォーマット： | Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12 (2 ch audio) (Windows Media Player) |
| AAC デコーディングフォーマット： | MPEG-4 AAC (Ver. 9.0.3 以前の iTunes でエンコードされた楽曲) |

●FM チューナー部

| | |
|--------------|--|
| 受信周波数帯域： | 76.0 MHz～90.0 MHz |
| 実用感度： | 9 dBf (0.8 μ V/75 Ω 、モノラル、S/N：30 dB) |
| S/N： | 72 dB (IHF-A ネットワーク) |
| 高調波歪率： | 0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ) 0.1 % (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル) |
| 周波数特性： | 30 Hz～15 000 Hz (\pm 3 dB) |
| ステレオセパレーション： | 45 dB (65 dBf 入力、1 kHz) |

●AM チューナー部

| | |
|----------|---------------------------|
| 受信周波数帯域： | 522 kHz～1 629 kHz (9 kHz) |
| 実用感度： | 25 μ V (S/N：20 dB) |
| S/N： | 62 dB (IHF-A ネットワーク) |

●付属品

| | |
|------------------|-----|
| コードユニット： | 1 式 |
| 取付ネジ類： | 1 式 |
| 取扱説明書： | 1 |
| リモコン： | 1 |
| リチウム電池 (CR2025)： | 1 |
| 安全上のご注意： | 1 |
| 保証書： | 1 |
| ご相談窓口・修理窓口のご案内： | 1 |
| お客様登録のお願い： | 1 |



メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》

【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600** (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540 (IP電話・有料)

■ファックス

0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ

<https://jpn.pioneer/ja/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81028** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-037-610** (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7550 (IP電話・有料)

■ファックス

0120-5-81029 (無料)

■インターネットホームページ

<https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/>

※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております。

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81095** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-057-140** (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7551 (IP電話・有料)

■ファックス

0120-5-81096 (無料)

■インターネットホームページ

<https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/parts/flow/>

※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.09

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2011-2019

<KYTZ19J> <QRA3018-E>